

縮尺 20 万分の 1

# 土地分類図付属資料

(奈良県)

昭和 48 年

経済企画庁総合開発局



# 縮尺 20 万分の 1 土地分類図付属資料

## 目 次

利用者のために

### A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要	1
2. 地層地質の分布とその性状等の概要	4
3. 土壌統群の分布とその性状及び生産力可能性等の概要	8
4. 土地利用可能性分級等の概要	14
4-1 土地利用現況の概要	14
4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要	16

### B 統計の部

1. 土地利用現況	
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳	18
1-2 D.I.D.およびね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳	26
2. 自然的土地条件	
2-1 傾斜区別面積市町村別内訳	27
2-2 標高区別面積市町村別内訳	29
2-3 地形区別面積市町村別内訳	31
2-4 地層地質分布面積市町村別内訳	33
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	36
3. 土地利用可能性分級	
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	40
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	42
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	42
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	43
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	43
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	43
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	44
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	46



## 利用者のために

### I 編集方針

この付属資料は、縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と、面積統計とに分けられるが、面積統計については、それぞれの縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し作成したものである。

たとえば、2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は、「傾斜区分図」を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形区分図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ね合わせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-1表「土地利用現況別面積市町村別内訳」および1-2表「D.I.D.おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」については奈良県における各種統計資料等を調整して作成したものである。

なお縮尺20万分の1土地分類図の各図幅と、付属資料統計表との関連を示すと次のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

土地分類図等の 名称  統計表の 名称	1 地形 分類 図	2 起伏 量・谷 密度 図	3 傾 斜 区 分 図	4 表 層 地 質 分 類 図	5 表 層 地 質 分 類 図	6 土 壤 図	7 土 壤 生 産 力 可 能 性 図	8 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図	9 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図	10 標 高 区 分 図	11 都 道 府 県 統 計 資 料 等
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳											○
1-2 D.I.D.おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳											○
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2 標高区分別面積市町村別内訳											
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	○									○	
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳									○		

土地分類図等の 名称	統計表の 名称										
	1 地形 分類 図	2 起伏 量・谷 密度 図	3 傾 斜 区 分 図	4 表 層 地 質 分 類 図 (平 面 的 分 類 図)	5 表 層 地 質 分 類 図 (垂 直 的 分 類 図)	6 土 壤 分 類 図	7 土 壤 生 産 力 可 能 性 分 区 図	8 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図 (土 地 利 用 現 況 図)	9 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図	10 標 高 区 分 図	11 都 道 府 県 統 計 資 料 等
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連									○		
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要							○		○	○	○
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

## II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積値は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1土地分類図の場合には最小図示単位として1Km<sup>2</sup>(図上では5mm四方)を原則としたため実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。特にパターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やや少な目に数値がでる傾向がある。また小河川、道路等が図上に含まれるところでは、土壌統群の面積がややオーバーにでるなどの場合があり、この統計表を各種資料として使用する場合には項目ごとの絶対値を使用するのではなく、総括的把握ないし、項目の構成比率等を用いるようにされたい。

## III 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事実のないもの

「 」(空白)は編集時において資料がなく不明のもの

#### IV 調 査 機 関

- |                 |           |             |
|-----------------|-----------|-------------|
| (1) 総 括 調 整     | 奈良県農林部耕地課 | 奈良市登大路町     |
| (2) 地 形 分 類     | 奈良女子大学    | 奈良市北魚屋町西町   |
| (3) 表 層 地 質     | 奈良教育大学    | 奈良市高畑町      |
| (4) 土 壤         | 奈良県農業試験場  | 橿原市四条町      |
|                 | “ 林業指導所   | 奈良県高市郡高取町吉備 |
| (5) 土 地 利 用 現 況 | 奈良県農林部    |             |
| (6) 土地利用可能性分級   | 奈良県農林部耕地課 |             |
|                 | “ 農業試験場   |             |
|                 | “ 林業指導所   |             |





## A 土地条件等の概要



## 1. 地形区分とその性状等の概要

奈良県は地体構造からみると県の中央部を東西に横断する中央構造線によって大きく二分される。南側は紀伊山地中、吉野山地と呼称され、全般に急斜面をめぐらせた大起伏壮年山地となっている。西南日本の外帯の一翼を荷って帯状の地質構造を示し、北より南へ、三波川帯、秩父帯、日高帯が現われる。地質構造に沿う縦谷は相対的に規模が小さく、山地を南流する北山川、十津川の横谷によって、現山地は南北性を示している。外帯の北縁部に吉野川（紀ノ川）が西流して河谷沿いに吉野山地の山麓地や丘陵以下の低位の地形を形成し、県北半部との明瞭な境界となっている。吉野川河谷の北縁を通る中央構造線以北、県の北半は西南日本の内帯に属する。地質構造を顕著に反映した地形配置を示し、構造の主方向が近畿地方中央部に卓越する南北性となるので、高地、低地、高地が東西に並んでいる。県北半の山地は全般に花崗岩質よりなり、小起伏山地の卓越に特色がある。縁辺部の南北方向の急斜面下および、これら急斜面に挟まれた低地部、すなわち奈良盆地の北部には丘陵や開析された扇状地が発達し、盆地床の低地を圍繞している。

### 1.1 山地

#### 1.1.1 大和高原

西南日本内帯に属する県北半の北東部にある地壘性の山地である。地質は大部分花崗岩類よりなり、南部の第三紀火山岩よりなる山地部、中央部の斑縞岩よりなる神野山（619m）等を除き、南域では500～600m高、北域で200～300m高と全体として南に高く、北に低い。頂部は高原の名称にふさわしく全般になだらかな小起伏地形を示している。隆起準平原と称されるもの、浅いが比較的急な谷壁を有する樹枝状に拡がる多数の細谷に刻まれ、特徴ある小起伏地形をつくっている。この前輪廻性の小起伏地形は隆起に伴い、高原東域の名張川の峡谷にみられるように回春した河川の下刻を受けている。必従的に北流する布目川、白砂川等においても同様である。高原上の浅い盆状地は新第三紀層によって埋められ、小起伏山地中にさらに低起伏の丘陵をなしている。高原の西縁は春日断層崖をなして奈良盆地に接し、この部分においては起伏量中は、傾斜も20度以上の斜面が卓越する。

#### 1.1.2 生駒・金剛山地

県北半の西縁につらなる南北性の山脈で、奈良盆地の西縁を限っている。中央部、大知川の横谷附近から二上山北麓にかけ丘陵地が入り込み、北部の生駒山地と南部の金剛山地に分断されている。生駒山地は斑縞岩よりなり、浸食に抗して一般陵線上に突出する残丘である生駒山（642m）以北は300m前後、以南は450m内外に前輪廻性の小起伏地形を残在させ、本県側、生駒谷に面する斜面は傾斜20度前後、起伏量も小である。南半の金剛山地は一転して傾斜30度以上の断層崖を奈良盆地に向けている。陵線上の主峯・金剛山（1260m）や葛城山その他に、小・中起伏地が存在するが地域の大半は大起伏地である。個々に図示は出来ないが、激しい浸食を示す崩壊地が多数存在する。

#### 1.1.3 宇陀山地

竜門山地の東方、大和高原の南方に位置する山地で、前者とは宇陀盆地、後者とは構造線に沿って線状に北

東流する宇陀川の河谷で境されている。宇陀盆地は標高300～400mの盆地底に谷底平野を発達させるが、全体として比高100m以下、樹枝状の細谷に刻まれる花崗岩類よりなる丘陵地となっている。宇陀山地主部は盆地の東方に位置する。主として花崗岩類よりなる山地で高見山地とも呼ばれ、高見山北方、三重県境附近で中起伏を示す他は起伏量400m以下となる。宇陀山地北半は室生火山岩に覆われ、特異な浸食形を示す中起伏山地がみられる。鎧岳、兜岳、屏風岩にみられる急崖な地這り性の滑落崖とみるべきもので、直下の山麓地とした緩斜面上に新旧の地這り地形が認められる。

#### 1.1.4 竜門山地

県北半の南部中央を占める山地。傾動地塊の特徴を示して南縁は中央構造線に沿い東西方向に直線状につらなる断層崖をもって吉野河谷に面し、北西縁は南斜面に比して緩傾斜をもって奈良盆地に下り、その山麓線は出入に富んでいる。この両山麓線は金剛山東麓にて合し、東に幅広く、西に狭まる三角形の平面形を示し、高度も東に高く、西に低い。主峯、竜門岳(904m)を中心とする山地主部は起伏量400m以上の中起伏山地となっている。

#### 1.1.5 台高山地

県南部の吉野山地のうち、北西流する吉野川の上流部、および北山川の河谷によって中央部より隔てられている東域の山地。山地の主稜線は三重県との県境をなし、その北端に高見山、中央部に大台ヶ原山がある。最高点は大台ヶ原中の日ノ出岳の1,695m、主稜線は1,200～1,300mにある。大台ヶ原は準平原遺物の一例として広く世に知られる小起伏地で、3度～15度の緩斜面が、より急な谷壁を有する比較的浅い谷に刻まれている。大台ヶ原の北西に続く他、山地内の処々、主として山頂部に、中起伏山地が点在する。山地の大半を占める起伏量600m以上の大起伏山地として図示されている地域は傾斜30度から40度以上に及ぶ急斜面をつらね、現輪廻の浸食作用が激しく働く斜面となっており、中・小起伏山地と接する界線においては傾斜の変換が明瞭である。大台ヶ原の南縁はその典型である。

#### 1.1.6 大峯山地

東縁は北山川および吉野川上流部、西縁は十津川により区切られ、南北に長く約50km、吉野山地の中央部を占める。吉野山地北縁、吉野川左岸には山麓地として図示した山麓面が吉野山附近に展開しているが、その吉野山南部より高度、起伏を増し、俗称「大和アルプス」と呼ばれる急斜面にとり囲まれた大起伏壮年山形を示すに至る。最高峰は中央部に位置する八剣山(1,915m)である。地質よりみれば北部は古生層、中部以南で中生層が広い面積を占めるが、脊稜部は石英斑岩よりなる。山中には断片的ながら小起伏、中起伏地が存在する。八剣山北西、大日岳南西に続くもの、あるいは主稜線よりやや下った斜面に位置するものであり、前輪廻の山麓面に由来する地形である。

#### 1.1.7 伯母子山地

いわゆる吉野山地の西域を占め、十津川以西、和歌山県境に至る山地である。主脈はほぼ県境に沿って南北に延びている。十津川の支谷が地質構造に適従して東西方向をとるので、それらに挟まれた数条の支脈が県境

に沿う主脈から東方に派出する。従って本山地は比較的短小な東西方向の山脈が南北に並ぶことになる。中央部を占める支脈に主峯、伯母子岳（1,342m）がある。本山地中、起伏量600m以上、傾斜40度前後の斜面をつらねる大起伏壮年山地は中央部の伯母子岳周辺や南縁の果無山脈付近を中心に最大の拡がりを示すが、起伏量中の地域を狭んで、県境付近の主稜線に沿い前輪廻性の小起伏山地が比較的広い面積を占めて存在する。

## 1.2 丘陵

### 1.2.1 吉野川河谷

本県の南北両半を分かって、西縁中央から楔状に東方に入り込む。中央構造線が北縁を東西に走っており、従って基盤岩は外帯北縁の結晶質の岩石であり、ほぼ吉野川現河道以南で吉野山地の山麓地とした小起伏地となっている。吉野川右岸では基盤岩は洪積層下に埋没し、頂部に狭長な段丘面が僅かに残存するが全体として開析が進んで丘陵状を呈している。下市、五条附近には中、下位の段丘面の発達をみるが、全般に現氾濫原は狭長である。

### 1.2.2 奈良盆地縁辺丘陵

生駒山地の東側に生駒谷を狭んで南北方向に並走する矢田丘陵はその南部において起伏量は100mを超える大起伏丘陵となるが、東西両側の逆断層崖の急斜面に狭まれた頂部には狭小ながら見事な前輪廻性の小起伏地形を留めて稜線の定高性を有している。盆地南縁には竜門傾動地塊の背面に続く低起伏の丘陵があり、矢田丘陵と共に花崗岩質岩よりなる。生駒・金剛山地の間を埋めて、安山岩質の火山岩よりなる低起伏丘陵の存在をみるが、その他、盆地の北縁、西縁を中心として発達する丘陵地は鮮新・洪積層よりなり、起伏量の小なること、土工の容易なることから宅地造成が盛んである。

## 1.3 平地

### 1.3.1 奈良盆地

県域北西部にある標高100m以下の断層盆地である。盆地の東縁は春日断層崖、西縁南部は金剛断層崖が南北につらなり、南縁は竜門傾動地塊の北麓が北東―南西方向をとり、北縁もほぼ同方向に丘陵縁が走るので盆地はほぼ菱形の平面形を示す。春日断層崖や金剛断層崖に沿っては山麓扇状地が開析を受けた台地が発達する。全般に扇状地礫層は薄く、部分的には基盤をなす花崗岩や下部洪積層を切る浸食面となっている。盆地四周より流出する河川は山麓附近に大小の扇状地を形成しており、それらは盆地中央に向け傾きつつ次第に傾斜を減ずると共に、堆積物も細粒となり、泥炭を狭むなど低地の性格は三角州性となる。三角州性低地には自然堤防の発達があり、段丘化した旧氾濫原も盆地中央附近に存在し、低平な湿性地地域に変化を与えると共に土地利用上の便宜を供与している。

武久義彦（奈良女子大学）

## 2. 表層地質の分布とその性状等の概要

### 2-1 表層地質の分布について

奈良県内の地質は、五条から吉野川に沿って高見山に至る中央構造帯によって、南部と北部の地質構造区に分けられる。これらは、それぞれ地質学的に西南日本の外帯と内帯に相当する。ここでは、次の三つの地質構造区に分けて説明する。

- A. 内帯
- B. 中央構造帯
- C. 外帯

#### A. 内帯の地質

内帯には、a) 領家コンプレックス、b) 中新一鮮新統、c) 火山岩類、d) 鮮新-洪積統、e) 沖積統が分布する。

a) 領家コンプレックスは、内帯の基盤をなして全域に分布し、出間部では広く露出する。一方、奈良盆地では新生代層におおわれるが、盆地の中心部では地震探査により、地下280～320mに存在すると推定されている。領家コンプレックスは、花崗岩類・塩基性火成岩類・低圧高温型変成岩類によって構成されており、その大部分は花崗岩類によって占められる。これらの火成岩類・変成岩類の形成時期は明確でないが、古生代末から白亜紀にかけてのある時期とみなされている。変成岩類は、堆積岩起源を示す縞状片麻岩から火成起源のものと区別の困難な塩基性岩までである。花崗岩類には、粗粒花崗岩・細粒花崗岩・花崗閃緑岩には線状構造をもつものと明らかでないものがある。これらの他に、閃緑岩・塩基性岩類の岩床が、ある規則性をもって分布し、粗粒塩基性岩のあるものは、生駒山や神野山にみられるように、花崗岩の上位を占め、ドーム状の形をしている。

b) ここで中新一鮮新統としたものは、第一瀬戸内海期から室生火山岩の噴出までの時期に堆積した浅海成ないし湖沼性堆積物をいう海成中新統としては、藤原層群・山辺層群・山粕層群が、湖沼性の中新一鮮新統には、二上層群・地獄谷層群・都介野層群・曾爾層群がある。分布範囲は相対的にせまく、領家コンプレックスの凹所に堆積したものであり、いずれも化石に富む。

c) 火山岩類には、室生火山岩とそれ以外のものがあり、前者は室生地方で中新一鮮新統をおおって広く分布し、後者は小岩体をなして各所に散在する。室生火山岩は、流紋岩質の溶結凝灰岩で、白岩・黒岩とよばれる二岩相が認められるが、構成鉱物の種類はほとんど同じである。ただ、黒岩は石基がかなりガラス質で流理構造が明らかなのに対し、白岩では微晶質のことが多い。層序的には室生火山岩は、都介野層群・曾爾層群の上部を占めるものとして取扱われる。これ以外に、流紋岩質岩が二上山・高見山に、安山岩質岩が二上山・信貴山・宝山寺・畝傍山・耳成山・三笠山に分布する。これらの噴出時期は確定的でなく、また火山としての原形を残していない。

d) 鮮新-洪積統は、大阪層群相当層を指し奈良盆地北西部の丘陵地・生駒盆地・大和高原の小盆地に分布し、礫層・砂層・泥層からなり薄い炭質層をはさむことがある。佐保累層・白川池累層・馬見累層・生駒累層・小野味累層・古琵琶湖層群などがある。奈良盆地周辺には、小規模ながら段丘性堆積物がみられる。

e) 沖積統は、奈良盆地と山間の小盆地におもに分布し、未固結の礫・砂・泥からなる。奈良盆地での沖積層は数十mに達する。

## B. 中央構造帯の地質

中央構造帯は、a) 圧砕岩、b) 白亜系、c) 鮮新-洪積統、d) 沖積統からなる。

a) 圧砕岩は、中央構造線の運動によって圧砕されてできた岩石で、中央構造線に沿って最大数kmの幅をもって断続的に分布する。圧砕の程度と源岩の種類から、さらにいくつかに分けられる。一部には、白亜系以後のものもある。

b) 白亜系は、和泉地向斜の堆積物と考えられるもので、中央構造線に沿って最大数百mの幅をもって断続的に分布する。西部では礫岩相が、東部では泥岩相が優勢となる。奈良県下では、時代確認に可能な化石が発見されていないため、所謂和泉層群などといわれている。

c) 鮮新-洪積統は、中央構造線に沿う構造谷に分布するもので、かつて大淀累層・竜門累層といわれていたものを指す。最近の研究で両者は指交関係にあることが分かったので、一括して吉野層群としておく。本層群は、上市以西では砂泥相が、上市以東では礫相が著しい。砂泥相中では、亜炭層がはさまれることがある。このほかに、五条付近では、段丘性堆積物が発達する。

d) 沖積統は、吉野川に沿った低地部に発達し、未固結の礫・砂・泥からなる。

## C. 外帯の地質

外帯には、a) 三波川変成岩、b) 上部古生界、c) トリアス-ジュラ系、d) 白亜系、e) 古第三系、f) 大峯酸性岩・熊野酸性岩、g) 沖積統が分布し、前四者は東西性の帯状配列を示す。大峯酸性岩体は南北性の方向をもち中央部に貫入している。地形的に陰阻なこともあり内帯ほど調査が進んでいないので、今までの報告を主にして説明する。

a) 三波川変成岩は、中央構造帯の南側に1~8kmの幅をもって、ほぼ東西に帯状に分布する。変成の時期については諸説があり一定しないが、源岩は上部古生界を含む古生界である。変成度は中央構造線に近づくほど高くなり高压型の変成鉱物を産するが、南部では変成度の低い片岩や千枚岩が多くなる。前者の部分を上市帯、後者の部分を吉野山帯とよぶことがある。ここでは、源岩のちがいでにより黒色片岩と緑色片岩に分けた。これらは全体として東西性の走向を示し、北傾斜である。

b) 上部古生界は、砂岩・泥岩・粘板岩・チャート・石灰岩・塩基性溶岩および凝灰岩などの緑色岩類から構成されており、帯状構造は著しく乱されている。北部の泥岩は、御荷鉾構造線に近づくにつれて粘板岩化する。北部では三波川変成岩が、高角度で衝上して御荷鉾構造線を形成する。南部ではさらに南側に分布するトリアス-ジュラ系に低角度で衝上するため、両者の平面的分布の境界は屈曲が著しい。川上層群・西吉野層群がこれに含まれ、川上層群の石灰岩からはフズリナ化石が報告されており西南日本地質構造区分の秩父累帯中・北帯に位置すると考えられてきた。一方最近、大普賢岳付近の石灰岩類より中生代型のサンゴ化石が見つかったのは注目される。

c) トリアス-ジュラ系は、従来日高累帯北帯とされていたものに相当し、主として砂岩・泥岩の互層からなるが、ところどころにチャート・石灰岩・緑色岩類の薄層・レンズをはさむ。本系は、層序・地質構造・古

生物より秩父帯南帯に相当するとした方が妥当ではないかと考えられている。天辻層群・伯母峯層群などがこれに含まれ、大迫付近の石灰質砂岩からジュラ紀を示す軟体動物化石などが報告されている。

d) 外帯の白亜系は、かつて日高帯南帯、牟婁帯としていたものに相当し、主として砂岩および泥岩の互層からなり、緑色岩類・チャートの薄層をはさむことがある。全体として東西性の走向を示し、見かけ上は北傾斜の単斜構造である。ここでは、調査不十分なこともあって地層の細分はせず、砂岩を主とする層と泥岩を主とする層に二分しておく。舟ノ川層群・上野地層群・平谷層群などが含まれる。化石にとぼしく正確な時代決定はできていない。大峯山系および東、川上流の砂岩は、かなりホルンフェルス化している。

e) 古第三系は、古生界を不整合におおって点在する浅海成層である。主な分布は、中奥川流域の中奥層と稲村ヶ岳頂上の稲村ヶ岳層である。岩相は、礫岩および砂岩を主とし、礫としては領家帯の片麻岩や三波川変成岩が含まれる。中奥層からは、古第三紀を示す有孔虫化石が報告されている。

f) 大峯酸性岩は、外帯の古生界・中生界の一般的構造方向とほぼ直交した形で、それらを買いて進入し、大峯山脈の中軸部を形成する形で断続的に分布するが、地下では一連のものであろう。大峯酸性岩として一括されているが、洞川・山上ヶ岳間のは花崗閃緑岩であり、川迫川および弥山川の岩体は石英斑岩ないし花崗閃緑岩からなる。周辺の堆積岩はかなりホルンフェルス化しており、ところどころに接触鉱床を生じている。進入の時期は大峯山脈の南端近くで、この石英斑岩が宮井層群を買っていることから、中新世末と考えられている。川迫川の石英斑岩のK-Ar法による年代測定の結果は $1400 \pm 2$  万年となっている。また、本県の東南端には、大峯酸性岩とほとんど同じ時期の選入と考えられる同岩質の熊野酸性岩が分布する。

g) 沖積統は、十津川および北山川に沿った地域にひじょうに限られた分布を示すのみである。

## 2-2 表層地質の垂直的分布について

表層地質の垂直的分布を、表層地質作業規程にもとづいて20万分の1の地形図上に表現するのはかなり困難な作業である。ここでは風化度を堀削などの土木作業のやり易さにおきかえて考えてみた。もともと岩片や岩体として硬い固結堆積物や火成岩類・変成岩類であっても、風化が進行して風化殻が厚くなり、堀削などの土木作業が未固結～半固結堆積物の場合と同じ程度にやり易ければ、これらと同じ風化度とみなして同一の記号で表現した。風化殻の厚さによって、 $\alpha$ ：浅い(3m以浅)、 $\beta$ ：中くらい(3～10m)、 $\gamma$ ：深い(10m以深)を表わしている。

奈良県下の表層地質の垂直的分布を概観すると、吉野川以北の地域では、吉野川以南の地域にくらべて、かなり風化度に差がみられ、同一の岩石類でも $\alpha$ から $\beta$ ～ $\gamma$ のような広範囲の風化度を示す。一般に、北部の高原や山地では風化度が低く( $\alpha$ ～ $\beta$ )岩石類は新鮮で硬いのに対して、奈良盆地の周辺地域では風化度が高く( $\beta$ ～ $\gamma$ )かなりの厚さの風化殻をもつ。吉野山地には、三波川変成岩類・古生界・中生界・古第三系・大峯酸性岩・熊野酸性岩などの多種多様な岩石が分布するが、いずれも固結が進んでいて硬く、風化度に著しい差は認めにくい。以下、地域別に風化度の概要を述べる。

a) 奈良盆地では、沖積統と洪積統が領家コンプレックスの上ののっており、これらの未固結～半固結堆積物の厚さは最大300m前後と推定されている。ボーリング調査の結果、これらの未固結～半固結堆積物は、奈良市南方から大和郡山市にかけての盆地中央部では比較的泥質で、その東方の大和高原と盆地の境界部や盆地中央部の田原町付近では礫質で、その他の地域では砂質がちである。



b) 大和高原には領家コンプレックスとその上にのる未固結および半固結堆積物が分布する。後者の分布は局部的で層厚も薄い。領家コンプレックスのうち閃緑岩・塩基性岩類・片麻岩類・線状構造を有する花崗閃緑岩などは、比較的風化度が低く( $\alpha$ )、中粒～細粒の花崗岩類は風化度が高い( $\alpha\sim\beta$ )。地域的には、奈良市東方の柳生から天理市東方の福住付近の中粒～細粒花崗岩類の風化度は $\beta$ を示し、神野山や一台山などの塩基性岩体なども風化度が高い。

c) 奈良盆地縁辺丘陵では、半固結の洪積統が領家コンプレックスの上ののっており、最近のボーリングその他の調査でこれらの堆積物の厚さはほぼ100m前後であることがわかった。

d) 生駒・金剛山地の領家コンプレックスは、大和高原のものと同程度の風化度( $\alpha\sim\beta$ )を示すが、閃緑岩類からなる生駒山・信貴山および多様な火山岩類からなる二上山などは、その構成岩類の風化度の低さが地形に反映し、山頂部や独峯を形成する。

e) 竜門山地と奈良盆地の境界部での領家コンプレックスは、大和高原・生駒・金剛山地のそれと比べると風化度が高く( $\beta\sim\gamma$ )、その結果この地域は複雑な浸食地形を示す。赤褐色の厚い風化殻がみられ、明日香村から高取町にかけてはとくに著しい。

f) 宇陀山地では、領家コンプレックスの上に溶結凝灰岩や半固結および未固結堆積物がのっている。特に溶結凝灰岩は、部分的に節理が非常に発達している上に風化度が低い( $\alpha$ )ため、赤目四十八竜や香落溪のような急崖の多い地形をつくる。また、基盤は同じ領家コンプレックスでも他の地域に比べて風化度が一段と低く( $\alpha$ )かなり硬い。

g) 吉野川河谷では、基盤の三波川変成岩の上に未固結および半固結の洪積統や沖積統がのる。これらの堆積物は淘汰の悪い礫層および砂層からなり、全層厚も100mをこえず基盤の上に薄くのっているにすぎない。

h) 大峯山地では、ほぼ南北方向に大峯酸性岩類が貫入・露出しており、その周辺の中・古生界はホルンフェルス化してやや硬くなり、風化度も低い( $\alpha$ )。

i) 台高山地では、東の川上流部の三重県との境界付近に熊野酸性岩類が露出しており、これにより周囲の中・古生界は多少ホルンフェルス化している。風化もあまり進まず( $\alpha$ )硬い。

j) 伯母子山地には、酸性岩類もホルンフェルスもみられない。吉野山地を南流する十津川や北山川はいくつかの支流をもつが、台高山地や大峯山地に源を発する東の川・旭川・芦瀬瀬川などは、出水時にも比較的清んでいるのに対し、伯母子山地より流れ出る川原樋川や神納川は濁流となる。これは、吉野山地の中でも岩石の硬軟に多少の差( $\alpha-\beta$ )のあることを示すものである。

梅田甲子郎 (奈良教育大学)

### 3. 土壌統群の分布とその性状及び生産力可能性等の概要

奈良県における山地、丘陵地、台地および低地の土壌は、土壌群8、土壌統群17に分類され、その内訳は次表のとおりである。

土 壌 統 群 一 覧 表

土 壌 群	土 壌 統 群
岩 石 地	岩 石 地
黒 ボ ク 土	黒ボク土壌
褐色森林土	乾性褐色森林土壌 乾性褐色森林土壌（黄褐色） 褐色森林土壌 湿性褐色森林土壌
ポドゾル	乾性ポドゾル化土壌
赤 黄 色 土	赤 色 土 壌 黄 色 土 壌
褐色低地土	褐色低地土壌 粗粒褐色低地土壌
灰色低地土	細粒灰色低地土壌 灰色低地土壌 粗粒灰色低地土壌
グ ラ イ 土	細粒グライ土壌 グライ土壌 粗粒グライ土壌

#### 3.1 山地および丘陵地土壌（林地土壌）

##### 3.1.1 概 要

本県の林野面積は2,889万㌦であるが、そのうち、褐色森林土が約98%を占めている。外には、火山灰に由来する黒ボク土、気象条件の影響を強くうけて生成されたポドゾル、赤黄色土および岩石地などで、これらの5土壌群は更に、9土壌統群に分類される。（土壌統群一覧表参照）

県下の山地、丘陵地土壌の大部分を占める褐色森林土の概括的な分布傾向としては、県のほぼ中央を東から西に流下する吉野川を境として、北部と南部を比較すると、地形、地質および気象など環境条件に相当な差異がみられ、それらと関連して、北部の丘陵地、低山地には乾性褐色森林土壌または乾性褐色森林土壌（黄褐色）が広く分布し、特に、県の北西部は生産力の低い乾性褐色森林土壌（黄褐色）で覆われている。一方南部は

起伏量の大きい壮年期地形をなし、長大な山腹斜面に適潤な褐色森林土壌が広範囲に分布し、スギ、ヒノキの造林地が多く、林業上、重要な地域となっている。

次に、地域別に土壌群の分布状況および生産力の可能性について概略を述べる。

### 3.1.2 奈良盆地縁辺丘陵、奈良盆地

洪積層、第三紀層の堆積物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌（黄褐色系）が奈良盆地に接する北部丘陵、奈良市中部から天理市北部に至る奈良盆地縁辺丘陵および奈良盆地西部周辺の香芝町以北の丘陵地に分布する。この土壌は表層が極めて薄く、土層上部が乾燥し、下層が堅密であるなど土壌の物理性が悪い。主に、成長不良なアカマツ林で、生産力が極めて低い。

### 3.1.3 生駒金剛山地

この地域の香芝町以北の山地および丘陵地には主に、花崗岩質岩と一部の塩基性岩、安山岩質岩および洪積層などの風化物を母材とする残積性の乾性褐色森林土壌（黄褐色系）が分布する。生育するアカマツの成長は劣り、生産力は低い。

また、生駒山南部の山稜鞍部緩斜面に赤色土壌が小面積分布する。表層が薄く、下層が埴質、堅密で、生産力は極めて低い。

当麻町以南の金剛山地には主に、花崗岩質岩と一部二上山周辺の安山岩質岩の風化物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌が尾根筋から山腹上部凸形斜面に分布する。同母材からなる適潤な匍行土～崩積土の褐色森林土壌が谷筋から山腹中部にかけて、広く分布する。乾性褐色森林土壌は生産力が低い。褐色森林土壌に生育するスギ、ヒノキは中庸の成長を示すが、二上山山麓は生産力が劣る。

なお、火山灰を母材とする黒ボク土壌が金剛山、葛城山などの山頂斜面に少面積分布する。生産力は中庸からやや劣る。

### 3.1.4 大和高原

花崗岩質岩の風化物を主とし、南東部の流紋岩質岩および第三紀層並びに点在する塩基性岩などの風化物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌が丘陵地および低山地の一部の谷筋、山腹下部を除いた地域に広く分布し、その分布比率が極めて高い。同母材からなる適潤な匍行土の褐色森林土壌が低山地の谷筋、山腹下部に狭い幅で分布する。傾斜が比較的急な、天理市の奈良盆地に面する斜面および桜井市の北東部に割合広く分布する。乾性褐色森林土壌は生産力が低く、褐色森林土壌に生育するスギ、ヒノキの生産力は中庸からやや劣る。

また、この地域には第三紀層及び洪積層の堆積物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌（黄褐色系）が月瀬村の北東部、奈良市の高円山の東部、および天理市南東部とその周辺の都祁村、桜井市の一部などの丘陵地に分布する。生産力は各地とも極めて低い。

### 3.1.5 宇陀山地

花崗岩質岩、流紋岩質岩及び一部第三紀層などの風化、堆積物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌が尾根筋、山腹上部凸形斜面に分布するが、地域の西部および北部の丘陵地、低山地では山腹下部にまで分布する。

同母材からなる適潤な圃行土～崩積土の褐色森林土壌が山腹中、下部に広く分布し、特に、地域の東南部の分布面積が広い。乾性褐色森林土壌は生産力が低いが、花崗岩質岩を母材とする地域に比し、流紋岩質岩を母材とする地域は一般に土層が薄く、急斜地では露岩がみられるところがある。褐色森林土壌はスギ、ヒノキの造林地となり、生産力は中庸であるが、谷筋の崩積土は生産力が高い。

また、室生火山群の火山灰を母材とする黒ボク土壌が室生村の南部、曾弥村の兜岳、古光山周辺および御杖村神末附近などの山地緩斜面に分布する。堆積層の厚さは20～50cm程度であるが、基岩が流紋岩質岩および第三紀層の上部に堆積する黒ボク土壌に比して、花崗岩質岩の上部に堆積するところは下層が厚く、生産力が高い傾向を示すが、一般に尾根筋や山腹上部は乾燥して、生産力が低く、山腹中、下部は適潤でスギ、ヒノキの生産力が高い。

### 3.1.6 竜門山地

花崗岩質岩の風化物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌が尾根筋、山腹上部凸形斜面に、主として分布するが、西部の奈良盆地に接する丘陵地では山腹下部にまで広がっている。同母材からなる適潤な圃行土～崩積土の褐色森林土壌が上記の一部を除いて、山腹下部から山腹中部にかけて分布する。乾性褐色森林土壌は生産力が低く、褐色森林土壌に生育するスギ、ヒノキの成長は中庸であるが、桜井市の音羽山、西部周辺の谷筋は生産力が、かなり高い。

### 3.1.7 吉野川河谷

洪積層の堆積物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌（黄褐色系）が吉野川沿いの丘陵地に分布するが、その範囲は右岸が広い。

上記土壌の周辺には母材が中生層砂岩からなるものが右岸に、三波川変成岩からなるものが左岸に現われ、それらの風化物からなる残積土の乾性褐色森林土壌が丘陵地に分布する。何れも生産力が低い。

### 3.1.8 吉野山地

この地域は地質が北から、三波川変成岩、秩父古生層、中生層の順に、ほぼ帯状に配列し、大峯山脈には大峯酸性岩が現われる。これらの構成岩石の風化物を母材とする残積土の乾性褐色森林土壌が起伏量の大きい、傾斜の急な壮年期地形を呈する吉野山地一帯の尾根筋、山腹上部凸形斜面に分布する。同母材からなる適潤で、圃行土～崩積土の度合の高い、多礫な褐色森林土壌が長大な山腹斜面の中、下部に広く分布し、水分供給の豊富な谷筋の一部には崩積土からなる多礫で、土層の厚い湿性褐色森林土壌が分布する。特に、地域の北東部にあたる川上村、東吉野村および黒滝村は褐色森林土壌および湿性褐色森林土壌の分布比率が高い。乾性褐色森林土壌は生産力が低く、褐色森林土壌に生育するスギ、ヒノキの成長は良好で生産力が高い。湿性褐色森林土壌に生育するスギは最も高い生産力を示す。

また、黒ボク土壌が伯母子岳周辺および果無山脈の一部緩斜面に小面積分布し、乾性ポドゾル化土壌が台高および大峯山脈の高標高の尾根筋、山腹上部に散在する。生産力はいずれも低い。

なお、岩石地が台高および大峯山脈周辺の溪流沿い、山腹急斜面に散在している。

### 3. 2 台地および低地土壌

#### 3.2.1 概要

本県の農地の主体をなすものは地形区分に示すとおり、中央構造線以北、県の北半部に位置する奈良盆地の沖積平野に集積している。

盆地内の農地面積は県全耕地の $\frac{1}{2}$ に相当する約20,000haが存在し本県農業の中核的地域であって、水稻を主幹とした園芸集約的農業地域でもある。

土壌は、概ね灰色低地土壌が多く分布して、大和川とその支流沿岸の低湿地にグライ土が存在する。

また、盆地の外縁部の丘陵、高原、山地および中央構造線周辺の河谷、山地の傾斜地、低地には約20,000haの農地が点在している。

水田は山間特有の棚田とも呼ばれ畑地がその周辺に介在している。

盆地の外縁部の北部地域は茶樹、南部地域は果樹園が多い。最近総合農地開発事業が強力に推進され大規模な畑地造成を実施されようとしているが現存の普通畑は小規模な家庭菜園的なものが多い状況である。

土壌図は縮尺20万分の1の図幅に図示すると云った制限を受けたため農地は部分的には相当誇張して描き、集計をすれば相当の面積にもなる狭小な農地は図示出来なかった。

したがって、水田では湿田、乾田の割合、畑地の分布状況は正確に表現されていない。

#### 3.2.2 奈良盆地地域

この地域は、県北半部の低地で湖成堆積の沖積地である。一部西部の馬見丘陵地及び盆地の東辺部に第三紀の洪積地が見られるが皆水田地帯である。

土壌は細粒～中粒質の灰色低地土壌が多く分布して、生産力は高く田畑輪換形体のそ菜栽培が盛んである。近年いちごの生産は著しく主要な産地となっている。

盆地周辺の丘陵、山地より南流する佐保川、富雄川また、北流する初瀬川、寺川の合流点および曾材川、葛城川、葛下川等の流域の低湿地にグライ土が各河川に添って分布している。

土性は細～中粒質土壌であり、さらに同河川に接近したところに粗粒グライ土壌が見られる。生産力は高いが、排水設備を整備して乾田化を図ることが望ましい。

#### 3.2.3 奈良盆地縁辺丘陵地域

この地域は生駒山麓地より南流する富雄川流域の沖積地と大和郡山市西部の矢田丘陵、西の京丘陵および奈良丘陵の第三紀洪積地に展開した農地で、前者の富雄川流域には浅耕土が粗～中粒質の灰色低地土が分布し、また、下層土は水成岩礫に富むところが多い。

生産力は盆地に比して劣り砂質軽しゅうによる漏水過多の秋落常習地域でもある。

また、矢田丘陵、西の京丘陵及び奈良丘陵地の洪積地は南流する秋篠川沿岸の低湿地細粒グライ土壌が分布して大部分が細粒～中粒質の灰色低土壌であり、これに接した丘陵の間に展開する低地には円礫の富む礫質土壌が分布している。当地域は急速な住宅造成が進み農地は潰滅しつつある。

### 3.2.4 生駒金剛山地山麓地域

この地域は二上山（標高雄岳 540 m、雌岳 474 m）を中心に北部、南部地域に区別される。地質は北、南部共に花崗岩を母材とした土壌である。

北部は生駒山山麓の生駒谷と称される地域で生駒川が南流し、その流域に開折された沖積地で細粒～中粒質の灰色低地土及び粗粒質の低地土の分布が多く、山麓の小狭谷にグライ土の分布が見られる。

水田は全般に浅耕土で秋落の常習地帯でもある。畑地は黄色の粘質土壌が多く礫も比較的含まれている土壌である。平群町を中心に花木栽培が盛んである。

また生駒谷の南部の三郷町では果樹が盛んである。

南部の金剛、葛城山麓地域は当麻町、新庄町、御所市と広範囲に扇状台地が発達して、粗粒灰色低地土壌の分布が多く土層に礫の富礫質土壌の分布も見られる。水田は全般に浅耕地で秋落常習地でもある。

当地帯北部の当麻、新庄町では花卉栽培、南部では果樹が盛んである。

### 3.2.5 大和高原地域

この地域は本県の東北部に位置し地形区分にも記載されるとおり南域より北域に緩斜した地塁でその地域内には小起伏地が多く、河川も曲折しながら北流している。

農地は丘陵台地の峡谷の低地に水田、台地に畑地が散在している。深江川、布目川、白砂川、笠間川、名張川とその支流流域の沖積地は灰色低地土が分布し土性は細粒～粗粒質の土壌であって、全般に浅耕土である。峡谷の低地は山地の伏流水の影響を受け微粒細粒グライ土壌が分布し、生産力は低い。

台地及び傾斜地に開かれた畑は大部分が茶園で土壌は黄色土壌で有効土層は概して深く、大和茶の主要産地である。

### 3.2.6 宇陀山地地域

この地域は、宇陀盆地と奥宇陀山地に大別される。

前者の宇陀盆地には東流する宇陀川、北東流する芳野川とその支流によって発達した沖積地と盆地内の台地の谷底低地さらに東部の内牧川流域に小規模ながらも開折した沖積の水田が展開している。沖積地は一般に粗粒質灰色土壌が多く下層に水成岩礫に富むところが多く分布している。

宇陀川、芳野川とその支流流域の水田の生産力は中級程度であり、内牧川流域はやや劣る。また、段丘台地の畑地は細～中粒質褐色低地土～黄色土壌が分布し根菜類、果菜類の栽培が盛んである。

後者の奥宇陀山地は三重県境に接し北東流する曾爾川、北流する神末川とその支流に開した沖積地と山峡の谷間湿低地がこれにつらなり、土壌は全般に粗粒～中粒質の灰色低地土壌で谷間の低湿地は山地の伏流水の影響を受けた山間特有のグライ土が散在し土性は細～中粒質土壌である。

地力は低く秋落常習地である。

段丘の傾斜地に散在する畑地はほとんど黄色土壌で礫も比較的多いところがある。

この地域は、かつて養蚕業が盛んであったが近年は衰退し抑制トマト及び大豆、小豆の栽培が盛んである。

### 3.2.7 竜門山地地域

この地域は、奈良盆地、吉野川河谷に挟まれた地域で中央部以北は準盆地で小丘陵が多く丘陵の谷間に展開する水田は沖積の細粒～中粒質灰色低地土壌が多く一部褐色低地土壌が介在している。

生産力はやや大である。丘陵の台地及びその斜面には柑きつ類の栽培が可成り活発に行なわれている。

以南の山地地域は全般に浅耕土の階段状の水田が散在し、谷底地部は灰色低地土壌一部にグライ土壌が散在している地力の中級程度である。

### 3.2.8 吉野川河谷地域

この地域の中央部を西流する吉野川とその支流によって開折された低地で主として三波川変成岩を母材とした土壌の沖積地からなっていて上流の吉野町竜門地区は黄色土壌中流地の右岸地帯は灰色低地土壌、左岸地帯は細粒灰色低地土壌一部粗粒灰色低地土壌が介在している。下流の右岸の台地は金剛葛城山地の影響を受けた扇状台地で褐色低地土壌～細粒灰色低地土壌が分布し左岸では灰色低地土壌が比較的吉野川に接近したところに細粒低地土壌また、細粒～中粒質のグライ土壌の分布が見られる。両沿岸に部分的ではあるが下層土に水成岩の礫に富む礫質土壌が分布している。

畑地は大淀町、下市町一部五条にかけて梨園、大淀町から西吉野村ベルト状に柿園があつて本県の主要な果樹生産地となっている。

土壌は総体的に黄色土壌で一部角礫の富む礫質土壌の分布が見られる。

この地域の土地生産力は地域によってかなり差違があり吉野川上流よりも下流流域の方がかなり高い傾向である。

松本弘二（奈良県農業試験場）

杉井教嗣（奈良県林業指導所）

## 4. 土地利用可能性分級等の概要

### 4.1 土地利用現況の概要

奈良県は我が国のほぼ中央部に位置し、中央経度は東経135度52.5分、中央緯度は北緯34度19.5分であり、面積は3,692.15Km<sup>2</sup>で全国面積の約100分の1にあたり、南北両極間の長さ102.22Km、東西64.13Kmと南北に細長い形となっている。

地形は吉野川に沿って東西に走る中央構造線により、北半の北部低地と南半の吉野山地に分かれている。北半は近畿中央低地地区の一部をなし、大阪・京都・三重の府県に接し、経済・交通において京阪神地方および中京圏と密接なつながりをもっている。南半は近畿南部の中部にあたり、近畿の屋根といわれる山岳地帯を形成している。本県の土地利用現況は、全体の80%弱が林地で占め残りが農地と市街地・その他である。

以下地域別に記述する。

#### 4.1.1 奈良盆地

この地域は、近畿中央低地の一部をなし、平坦な沖積層からなっている盆地で、古代から我が国の政治文化の中心となったところである。県下全耕地の2分の1に相当する農地が存在し、主として水田として利用され、水稻を基幹とした田畑輪換形態のそ菜栽培が盛んで、近年いちごの産地として著しく発展してきた。

一方地理的には、大阪の都心から30～40Km圏に位置し、西名阪道路・国道25号線を介して名古屋・四日市等の中京圏と大阪を結ぶ中間にあたるため、内陸工業および流通基地の適地であり、大和郡山市から安堵村にかけて工業団地として利用されている。

また、古来よりの重要文化財や天の香久山歴史的風土特別保存地区をはじめ、保存地区および風致地区が多く存在している。

#### 4.1.2 奈良盆地縁辺丘陵台地

この地域は奈良盆地の周囲、すなわち北縁台地丘陵、東縁台地丘陵、馬見、香芝丘陵、金剛東麓台地より形成されている。

北縁台地丘陵は、大和高原と生駒山脈との間に東寄りに奈良山丘陵が東西の方面に走り、その西に南北に長く走る西ノ京丘陵と矢田丘陵が並んでいて、一般に水田と林地とに利用されている。

近年は都市化の急激な発展により、交通条件も近鉄線をはじめ阪奈道路・国道163号線の整備が行なわれ、大阪への30分通勤圏になっており、かつこうの住宅地ができてきた。一方平城宮跡、西の京、奈良北部の古墳群、法隆寺等の文化財および矢田山自然公園と、風致地区が多く存在している。

東縁台地丘陵は、奈良市から天理市、三輪山に至る細長い南北にのびる丘陵地で、大和青垣国定公園に指定されている。

天理市より三輪山にかけては、かなり多く柿園やみかん園として利用されている。

馬見、香芝丘陵は農地と林地に利用されているが、西は大阪府に接し、西名阪道路の開通等で一段として宅地造成が進み、住宅団地を形成してきた。

金剛東麓台地は大部分水田として利用され、水稻を中心とした田畑輪換形態のそ菜づくりや花づくりが盛ん



に行なわれている。

#### 4.1.3 生駒金剛山地

この地域は大和平野に接するところで、南北に走る生駒金剛山脈は、約45kmの長さの断層作用で生じた地壘山脈で中央部を横断する大和川の亀ノ瀬峡谷により、北半を生駒山脈、南半を金剛山脈と区別しており金剛生駒国定公園に指定されている景勝地である。

生駒山脈の北部に最高峯の生駒山があり、山頂は観光および電波基地となっており、附近一帯も観光地となっている。

北半の山林は全体にアカマツ林が多く南半の方はスギ、ヒノキが植栽されている。また三郷町、平群町には僅かな畑地が点在し、花木、洋ラン栽培が盛んに行なわれている。

#### 4.1.4 大和高原

この地域は、本県の東北部に位し、西は奈良盆地縁辺丘陵、東縁台地に、北は木津川構造谷、東は三重県伊賀盆地、南は初瀬川、宇陀川断層崖で限られている不等辺四辺形の高原である。

南部より北部に緩斜しており高原上の諸川もこれに従って北流しておりこれらの周辺の低地は水田として、台地は畑地として利用されている。特に茶の栽培が盛んで、その面積約1,000haあり品質もよく大和茶として進出している。林地は局所的にスギ、ヒノキの人工林がみられるが生産力は低く、全般的に天然性アカマツ林とクヌギ、雑木林が多い。

#### 4.1.5 宇陀山地

この地域は、大和高原の南部に位し、西部地区の小盆地群と、東部地区の山岳地帯に大別できる。総体的に林地でスギ、ヒノキの造林地となっており、吉野林業に接する地域でもあるので施業が行き届き生産力も高い。特産として西部地区でシイタケの栽培が盛んに行なわれている。

西部地区の宇陀川水系を中心に耕地は樹枝状に展開し、階段状に分布され水田と畑地として利用している。一方近鉄大阪線が東西に通じ榛原駅を中心として大阪へ一時間圏になっているため榛原町の北部は宅地造成が進められている。

東部地区は、曾爾川、神末川ととその支流周辺において水田および畑地があるが、林地に比し僅かである。この地は室生火山岩に覆われ屏風岩、兜岳、鎧岳のように非常に奇勝の多い火山地形で、景勝地が多く、室生村、曾爾村から三重県にかけ赤目室生国定公園に指定されている。

#### 4.1.6 竜門山地

この地域は、奈良盆地の南方に位し、吉野川河谷と盆地との間に狭まれ、東方は宇陀山地に接し西に細長い鋭角状をなす三角状の地塊である。南辺は吉野川に面して東西に中央構造線が走っている。地形的に見ると北に緩斜し南に急斜していて中央部より以北は小丘陵が多く丘陵は畑地、丘陵の谷間は水田として利用されている。また少量であるがみかん園がみられる。

一方この地の中央部にある明日香村は所謂「飛鳥地域」で近年とくに脚光を浴び歴史的風土保存地区として、

保存構想が練られ軌道に乗りつつあることは周知のとおりである。

南部は大部分林地であり、スギ、ヒノキの人工林が多く局所的に天然性アカマツ林がみられる。

#### 4.1.7 吉野川河谷

この地域の北縁は、東西に中央構造線が走り、東は津風呂ダムを境として吉野川に沿う和歌山県境までの細長い地帯で、南は吉野山地に接している。

吉野川とその支流周辺の低地に水田が存在し、丘陵には畑地が多く大淀町を中心に梨園として利用され、また五条市から下市町の一部にかけては、柿の栽培が盛んに行なわれその品質も良く生産力も高い。

一方林地としては、天然性アカマツ林が多く分布しこの美しい自然に囲まれた津風呂ダムの景観は、まことに風光明媚でこれより吉野川沿岸一岸を吉野川、津風呂自然公園として指定している。

#### 4.1.8 吉野山地

本県の南半部を占める大山岳地帯で、東は台高山脈をへだてて三重県と、南西は和歌山県に、北辺は吉野川河谷および宇陀山地に接している。

中央部は大峯山系によって十津川流域と北山川流域とに分けられ、大台ヶ原ノ伯母子山脈、山上ヶ岳、大天井岳、武士峯、天辻峠を連ねる横断山脈によって吉野川流域と分水嶺をなしている。大台ヶ原山や大峯山脈は山岳美、溪谷美に富み、吉野熊野国立公園に指定されている。また和歌山県高野山に面する野迫川村の美林も景勝地であり高野竜神国定公園に指定されている。この吉野山地は吉野林業地帯で古くからスギ、ヒノキが人工植栽され美林を形成し生産力も高く、吉野杉として全国的に有名である。

奥地は針葉樹（モミ、ツガ類）と広葉樹（ブナ、ナラ類）が混生する天然林が分布している。

### 4.2. 土地利用可能性分級の地域別の概要

奈良県全域の土地利用可能性分級は、所定の分級基準にもとづき、2類地より8類地に区分することができ、1類地はない。中でも4・5類地および7類地が多く全体の90%近くも占めている。

吉野川を境として北半と南半に大別すると、北半は2～5類地と一部8類地に分布され、県下で最も多い7類地は殆んどなく、また6類地は全く分布しない。南半は、北半とは対的に7類地が大部分を占め、5・4類地の順に分布され、北半にない6類地が僅か乍ら高地に分布している。なお、2・3類地は殆んどない状況である。以下各類地の分布について述べる。2類地は、大部分が奈良盆地に分布していて、標高が50～100mの低地で傾斜も緩かである。土地は、細粒灰色低地土壌が多く、一般に水田として利用され、近年は都市近郊農業としての特色を生かし田畑輪換形態の農用地として利用されている。なお、この外には吉野川河谷地域に僅かながら分布している。3類地は、大半が奈良盆地に分布していて2類地と同様農地に利用されている。この奈良盆地を見ると市街地を除いては、2～3類地で形成されている。また奈良盆地のまわりの奈良盆地縁辺丘陵・台地にも多く分布していて、水田として利用されている。4類地は、奈良盆地縁辺丘陵・台地、生駒金剛山地の北部、大和高原の北部から東部、竜門山地、宇陀山地、吉野川河谷地域、すなわち北半部においては奈良盆地を除いて何れの地域にも分布され、面積的にも最も多い。5類地は県下全域において7類地に次ぐ2番目に多い類地で、吉野山地の野迫川、十津川、西吉野、天川、川上の各村に多く分布していて全体の50

％を占めている。

北半部において大和高原では都祁、山添の各村と天理市の山間部、宇陀山地では室生、御枝、東吉野村に、竜門山地では吉野町に多い。6類地は、県下で最も少ない類地で、しかも吉野山地の高地にしか分布しないものである。傾斜も急な土地で天川、十津川、上北山の各材にあり、林地として利用されている。7類地は、県下全域の3分の1にもあたる最も多い類地で、南半部に分布している。この土地は、大部分標高が高く急傾斜であるのに反し褐色森林土壌であるP分級が1等級が多いため、生産性の高い林地として広く活用されている。8類地は、奈良盆地、奈良盆地縁辺丘陵台地にある市街地と、月瀬村および吉野山地にあるダム地、それに吉野川の河川敷である。

南出七男（奈良県農林部耕地課）



# B 統 計 の 部





# 1. 土地利用現況

## 1.1 土地利用現況別面積市町村別内訳

区 市 町 分 村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利 用 草 地			未 利 用 地 (原 野 草)	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地		計		永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
						果 樹 園	桑茶そ の 園園他							
奈良市	3530		3530	319		130	314	444	4293		7	7	6	13
大和高田市	732		732	100		11		11	843					
大和郡山市	1870		1870	114		100	10	110	2094					
天理市	2390		2390	126		223	113	336	2852					
橿原市	1920		1920	133		64	33	97	2150					
桜井市	1620		1620	298		151	13	164	2082					
五条市	1440		1440	159	1	411	38	449	2049		80	80		80
御所市	1490		1490	98		73		73	1661					
生駒市	1140		1140	53		39		39	1232					
市部計	16132		16132	1400	1	1202	521	1723	19256		87	87	6	93



( 単位 : ha )

林 地												宅 地	そ の 他	合 計	
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林	特 殊 樹 林	除 地				林 地 計
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 して いる 土 利 地	そ の 他	計							
2486	708	3,194	2631	4,792	7,423	39	67	106	172	1		10896	1,164	4825	21,191
													270	560	1,673
112	3	115	202	16	218		3	3	27			363	413	1,404	4,274
1,325	472	1,797	500	1,166	1,666		12	12	39			3,514	337	1,870	8,573
83	227	310	41	25	66		3	3	13			392	531	970	4,043
3,335	1,207	4,542	694	700	1,394		17	17	98			6,051	347	1,560	10,040
1,680	67	1,747	1,545	1,287	2,832	97		97	112			4,783	188	1,782	8,887
1,690	930	2,620	247	265	512		81	81	45			3,258	233	931	6,083
203	70	273	1,794	662	2,456		37	37	92			2,858	218	950	5,258
10,914	3,684	14,598	7,654	8,913	16,567	136	220	356	598	1		32,120	3,701	14,852	70,022

区 市 町 村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利 用 草 地			未 利 用 地 (原野草)	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
						果 樹 園	桑茶そ の 園園他	計						
月ヶ瀬村	202		202	45		29	118	147	394					
都 祁 村	600		600	24		5	162	167	791		51	51	5	56
山 添 村	593		593	179	1	15	274	289	1,062		75	75	23	98
平 群 町	405		405	83		23		23	511					
三 郷 町	148		148	6		18	1	19	173					
斑 鳩 町	453		453	34		30	6	36	523					
安 堵 村	230		230	10		5	2	7	247					
川 西 村	337		337	24		11	1	12	373					
三 宅 村	215		215	20		6		6	241					
田 原 本 町	1270		1270	86		22		22	1,378					
大 宇 陀 町	770		770	289	7	13		13	1,079					
菟 田 野 町	352		352	137		8		8	497				1	1
榛 原 町	802		802	232	2	17	11	28	1,064		1	1	4	5
室 生 村	573		573	173	1	17	39	56	803		4	4	33	37
曾 爾 村	210		210	109		5	42	47	366		36	36	1	37
御 杖 村	257		257	150		6	15	21	428					
高 取 町	444		444	444		12	16	28	543					

林 地													宅 地	そ の 他	合 計
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林	特 殊 樹 林	除 地	林 地 計			
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 し て い る 土 地 利 用 状 況	そ の 他	計							
170	98	268	434	916	1350	5	7	12	21			1651	22	53	2120
850	56	906	420	1771	2191		1	1	11			3109	58	399	4413
1300	364	1664	479	2310	2789	11	172	183	96			4732	61	799	6752
83	66	149	573	365	938		48	48	87			1222	71	599	2403
45	65	110	237	182	419		13	13	11			553	85	51	862
42	15	57	305	10	315		1	1	5			378	118	439	1458
													40	201	488
													39	138	550
													36	220	497
													155	526	2059
1,614	459	2,073	400	659	1,059	1		1	19			3,152	80	429	4,740
1,279	170	1,449	63	393	456	2	21	23	7			1,935	43	292	2,768
2,742	564	3,306	181	1,012	1,193	5	3	8	21			4,528	90	628	6,315
4,596	603	5,199	515	3,274	3,789	26	16	42	41			9,071	59	753	10,723
2,522	86	2,608	23	1,227	1,250	82	33	115	9			3,982	31	345	4,761
5,016	136	5,152	21	1,842	1,863		347	347	14			7,376	30	132	7,966
964	374	1,338	168	53	221		8	8	41			1,068	54	355	2,560

区 市 町 村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利 用 草 地			未 利 用 地 (原野)	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
						果 樹 園	桑茶 園 の 他	計						
明日香村	436		436	137		77		77	650					
新庄町	736		736	51		9	1	10	797					
当麻町	463		463	13		6		6	482					
香芝町	759		759	40		59		59	858					
上牧村	157		157	40		17		17	214					
王寺町	91		91	9		5		5	105					
広陵町	836		836	110		29		29	975					
河合町	249		249	44		41		41	334					
吉野町	312		312	264		97	50	147	723		20	20	7	27
大淀町	402		402	129		82	41	123	654					
下市町	273		273	220		140	33	173	666					
黒滝村	22		22	50		11	1	12	84					
西吉野村	149		149	136		783	81	864	1,149		12	12		12
天川村	44		44	75		11	1	12	131		48	48		48
野迫川村	43		43	25		3		3	71					
大塔村	5		5	59		9	2	11	75					
十津川村	153		153	206		79	13	92	451					

林 地												宅	そ の 他	合 計	
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹	特 殊 樹 林	除 地				林 地 計
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 し て い る 土 地 に 利 用 さ れ て い る 土 地	そ の 他	計				林	計	地	
933	274	1207	15	104	119		4	4	51						1381
435	123	558	18	4	22		2	2	5			587	94	275	1753
403	77	480	263	25	288		1	1				769	60	315	1626
52	31	83	676	101	777		8	8	4			872	127	574	2431
1	27	28	163	15	178		1	1	1			208	32	134	588
29	26	55	166	43	209		1	1	2			267	83	239	694
	8	8	28	9	37				4			49	138	503	1665
3	3	6	102	19	121							127	36	333	830
5098	170	5268	1789	566	2355	3	6	9	15	1		7,648	91	1,003	9,492
961	183	1,144	874	420	1,294	9	5	14	8			2,460	76	579	3,769
3,159	28	3,187	563	957	1,520	42	19	61	45			4,813	68	707	6,254
4,007		4,007	77	314	391	27		27	3			4,428	20	250	4,782
5,655	15	5,670	457	1,000	1,457	21	5	26	41	15		7,209	47	850	9,267
7,564		7,564	1,948	6,214	8,162	42	736	778	1			16,505	32	792	17,508
5,427	3	5,430	1,988	6,500	8,488	603	65	668	7	2		14,595	14	835	15,515
4,844		4,844	989	4,020	5,009	60	79	139	5			9,997	10	1,015	11,097
22,740		22,740	2,318	35,760	38,078		3,489	3,489	28			64,335	48	2,143	66,977

区 市 町 村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利 用 草 地			未 利 用 地 (原野) 計	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
						果 樹 園	桑茶 園 園	そ の 他						
下北山村	40		40	42		3	2	5	87					
上北山村	2		2	12		1	1	2	16				1	1
川上村	1		1	71		10	6	16	88				260	260
東吉野村	46		46	123		25	33	58	227		24	24		24
郡部計	13080		13080	3528		1739	952	2691	19310		271	271	335	606
合計	29212		29212	4928		2941	1473	4414	38566		358	358	341	699

林 地													宅	そ の 他	合 計
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林	特 殊 樹 林	除 地	林 地 計			
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 し て い る 土 地 利 用	そ の 他	計							
4830		4830	500	6933	7433	79	22	101	2			12366	25	1442	13920
6520		6520	2323	16739	19062		38	38				25620	10	1373	27020
16367		16367	659	8810	9469		71	71	7			25914	38	682	26982
10996	6	11002	210	1409	1619	25		25	4			12650	39	244	13184
121247	4030	125277	19945	103976	123921	1043	5222	6265	616	18		256097	2216	20964	299193
132161	7714	139875	27599	112889	140488	1179	5442	6621	1214	19		288217	5917	35816	369215

D. I. D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

(単位：ha)

	市街地					市内訳					市街地外の内訳					合計	
	商業区	工業区		住宅地	市街地計	漁業区	その他の		市街地計	農地	草地	林地	宅地	公用地	その他		
		重工業地	軽工業地				公共区	運輸区									
																	計
奈良市	85	—	16	16	958	—	28	131	159	1,218	4,293	13	10896	206	4,565	19973	21,191
合計	85	—	16	16	958	—	28	131	159	1,218	4,293	13	10896	206	4,565	19973	21,191

註 ① 本表作成については、行政区域の総面積及び市街地外の農地、草地、林地の面積は、昭和45年発行の第17次奈良県農林水産統計年報資料に基づく面積を記載した。

② 市街地の総面積は、昭和43年度県企画調査資料による。

③ 市街地の公共区は、道路敷、公園、河川、官公署、文教施設、その他公共地で、市街地の総面積より前記の面積計を減じた数字を記載した。

④ 市街地区の宅地は奈良市全体より住宅区面積を減じた数字である。

⑤ 市街地区の公共用地その他は、全体面積より市街地計、市街地外の農地、草地、林地、宅地を減じた数字を記載した。





2. 自然の土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

(Km<sup>2</sup>)

市町村	傾斜区分	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°~30°	30°~40°	40°~	湖沼	合計	備考
奈良市		39	23	54	78	16	2	-	-	212	
大和高田市		16	-	-	-	-	-	-	-	16	
大和郡山市		35	3	2	2	1	-	-	-	43	
天理市		35	5	15	17	14	-	-	-	86	
橿原市		33	1	4	2	-	-	-	-	40	
桜井市		14	5	4	43	26	8	-	-	100	
五条市		13	10	21	23	13	6	3	-	89	
御所市		11	6	5	19	12	8	-	-	61	
生駒市		6	2	32	11	2	-	-	-	53	
市部計		202	55	137	195	84	24	3	-	700	
添郡 上月ノ瀬村		-	-	-	18	1	0	-	2	21	
山都郡 祁村		3	-	14	24	2	1	-	-	44	
辺山郡 添村		-	1	8	50	6	1	-	1	67	
郡計		3	1	22	74	8	2	-	1	111	
平郡町		2	1	3	14	4	-	-	-	24	
三郷町		1	2	1	4	1	-	-	-	9	
斑鳩町		10	2	2	1	0	-	-	-	15	
安堵村		5	-	-	-	-	-	-	-	5	
郡計		18	5	6	19	5	-	-	-	53	
磯城郡 川西村		5	-	-	-	-	-	-	-	5	
三宅村		5	-	-	-	-	-	-	-	5	
田原本町		21	-	-	-	-	-	-	-	21	
郡計		31	-	-	-	-	-	-	-	31	
宅陀郡 大字陀町		-	1	-	34	10	2	-	-	47	
菟田野町		-	-	-	10	18	-	-	-	28	
榛原町		-	4	1	36	15	6	1	-	63	
室生村		-	-	7	34	43	18	5	-	107	

曾爾村	-	2	2	12	18	9	5	-	48
御杖村	-		3	13	21	43	0	-	80
計	-	7	13	139	125	78	11	-	373
高取町	1	1	0	9	14	1	-	-	26
明日香村	1	3	2	5	9	4	-	-	24
計	2	4	2	14	23	5	-	-	50
新庄町	8	2	1	1	2	3	-	-	17
当麻町	5	1	1	3	3	2	1	-	16
香芝町	11	3	3	6	1	-	-	-	24
上牧村	0	4	2	-	-	-	-	-	6
王寺町	4		1	1	0	1	-	-	7
広陵町	14	0	3	-	-	-	-	-	17
河合町	5	2	1	-	-	-	-	-	8
計	47	12	12	11	6	6	1	-	95
吉野町	-	1	2	20	23	37	10	2	95
大淀町	-	1	5	20	9	3	-	-	38
下市町	-	1	1	13	28	14	5	-	62
黒滝村	-	-	-	-	7	30	11	-	48
西吉野村	-	-	-	8	23	40	22	-	93
天川村	-	1	3	-	23	80	68	-	175
野迫川村	-	-	-	-	-	107	48	-	155
大塔村	-	-	-	-	5	37	68	1	111
十津川村	-	-	-	-	12	169	481	8	670
下北山村	-	-	-	-	3	22	112	2	139
上北山村	-	1	3	3	6	59	195	3	270
川上村	-	-	-	1	21	79	169	-	270
東吉野村	-	-	-	13	33	59	27	-	132
計	-	5	14	78	193	736	1,216	16	2,258
郡部計	101	34	97	353	361	827	1,228	19	2,992
合計	303	89	206	548	445	851	1,231	19	3,692

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

市町村	標高区分 (Km <sup>2</sup> )											合 計
	0~100	100~200	200~400	400~600	600~800	800~1000	1000~1500	1500~				
奈良市	49	46	72	43	2	-	-	-	-	-	-	212
大和高田市	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
大和郡山市	39	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	43
天理市	37	9	10	29	1	-	-	-	-	-	-	86
橿原市	38	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
桜井市	17	19	28	32	4	0	-	-	-	-	-	100
五条市	2	44	31	9	3	0	-	-	-	-	-	89
御所市	10	26	14	5	3	2	1	-	-	-	-	61
生駒市	0	37	14	2	-	-	-	-	-	-	-	53
市部計	208	185	171	120	13	2	1	-	-	-	-	700
添郡 上月ノ瀬村	-	4	17	-	-	-	-	-	-	-	-	21
山都郡 都祁村	-	-	1	41	2	-	-	-	-	-	-	44
辺郡 山添村	-	2	41	24	0	-	-	-	-	-	-	67
郡計	-	2	42	65	2	-	-	-	-	-	-	111
生駒郡 平郡町	4	7	12	1	-	-	-	-	-	-	-	24
三郷町	5	2	2	0	-	-	-	-	-	-	-	9
斑鳩町	11	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	15
安堵村	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
郡計	25	11	16	1	-	-	-	-	-	-	-	53
磯城郡 川西村	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三宅村	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
田原本町	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
郡計	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
宅 大宇陀町	-	-	19	24	4	0	-	-	-	-	-	47
陀 菟田野町	-	-	8	18	2	-	-	-	-	-	-	28
郡 榛原町	-	-	22	34	7	0	-	-	-	-	-	63
室生村	-	-	23	63	20	1	-	-	-	-	-	107

曾爾村	-	-	2	22	21	3	-	-	48
御杖村	-	-	-	30	42	7	1	-	80
計	-	-	74	191	96	11	1	-	373
高取町	3	11	10	2	-	-	-	-	26
明日香村	2	9	6	5	2	-	-	-	24
計	5	20	16	7	2	-	-	-	50
新庄町	8	4	2	2	1	-	-	-	17
当麻町	5	5	5	1	-	-	-	-	16
香芝町	17	7	0	-	-	-	-	-	24
上牧村	6	-	-	-	-	-	-	-	6
王寺町	6	1	0	-	-	-	-	-	7
広陵町	17	-	-	-	-	-	-	-	17
河合町	8	-	-	-	-	-	-	-	8
計	67	17	7	3	1	-	-	-	95
吉野町	-	7	58	24	6	-	-	-	95
大淀町	-	13	23	2	-	-	-	-	38
下市町	-	4	28	28	2	-	-	-	62
黒滝村	-	-	1	22	14	8	3	-	48
西吉野村	-	3	41	28	16	5	0	-	93
天川村	-	-	-	9	27	46	84	9	175
野迫川村	-	-	-	5	51	62	37	-	155
大塔村	-	-	2	13	46	26	21	3	111
十津川村	-	15	62	141	226	125	98	3	670
下北山村	-	3	19	29	48	17	22	1	139
上北山村	-	-	12	46	79	55	71	7	270
川上村	-	-	14	73	52	65	66	0	270
東吉野村	-	-	14	61	34	15	8	-	132
計	-	45	274	481	601	424	410	23	2,258
郡部計	128	99	446	748	702	435	411	23	2,992
合計	336	284	617	868	715	437	412	23	3,692





2-4 表層地質分布面積市町村別内訳

(K㎡)

市町村	表層地質		未固結～固結堆積物										火山岩類				深成岩類				変成岩類		合計	備考						
	表層地質	未固結堆積物	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	計	l	m	n	計	o	p	q	r			計	s	t	u	v	計
奈良市	47	31	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39	0	-	-	0	-	95	5	4	104	22	-	-	-	-	22	212	
大和高田市	16	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16		
大和郡山市	37	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	2	43		
天理市	33	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	42	-	4	46	4	-	-	-	4	86		
橿原市	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	0	2	-	2	-	-	-	-	-	40		
桜井市	20	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	12	51	16	79	1	-	-	-	1	100		
五条市	48	15	-	-	4	-	-	-	6	-	-	-	25	-	-	-	-	-	0	2	-	2	-	1	8	5	14	89		
御所市	33	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	17	9	-	26	-	-	-	-	-	61		
生駒市	5	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	0	-	-	0	-	14	-	-	2	16	-	-	-	-	53		
市部計	277	84	9	-	5	-	-	-	6	-	-	-	104	0	-	0	-	-	181	69	26	276	29	1	8	5	43	700		
添郡	0	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	16	-	-	16	0	-	-	-	0	21		
山都郡	2	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	5	-	-	30	-	0	30	0	-	-	-	0	44		
山添村	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	10	2	61	5	-	-	-	5	67		
辺郡	3	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	5	-	5	-	79	10	2	91	5	-	-	-	5	111		
平郡	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	-	-	0	-	16	-	-	1	17	2	-	-	2	24		
三郷町	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	0	2	-	2	-	-	-	-	-	9		
斑鳩町	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4	15		
安堵村	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
計	21	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0	-	0	-	-	16	2	1	19	6	-	-	-	6	53		
川西市	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
三宅村	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
田原本町	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21		
計	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31		
大字陀町	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	3	25	43	-	-	-	-	-	47		
菟田野町	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-	22	1	3	26	1	-	-	-	1	28		
榛原町	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	35	-	35	-	-	12	0	3	15	9	-	-	-	9	63		
室生村	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	81	-	81	-	-	8	1	9	10	-	-	-	-	10	107		



曾爾村	6	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	30	-	30	-	0	2	1	3	6	-	-	6	48					
御杖村	4	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	2	-	44	8	12	64	8	-	-	8	80					
計	23	-	8	-	-	-	-	-	-	8	-	148	-	148	-	101	15	44	160	34	-	-	34	373					
高取町	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	22	-	-	-	-	-	26					
明日香村	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	3	21	-	-	-	-	-	24					
計	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	39	3	43	-	-	-	-	-	50					
新庄町	14	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-	-	17					
当麻町	9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	3	-	0	3	-	3	0	-	-	-	0	16					
香芝町	16	4	2	-	-	-	-	-	-	6	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24					
上牧村	1	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6					
王寺町	4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	7					
広陵町	15	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17					
河合町	6	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8					
計	65	15	2	-	-	-	-	-	-	17	6	-	6	-	3	4	7	0	-	-	-	-	0	95					
吉野町	5	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	2	17	-	19	-	-	0	58	6	95					
大淀町	5	20	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	8	-	8	-	-	1	1	0	38					
下市町	3	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	45	4	62					
黒滝村	-	0	-	-	-	-	-	-	-	36	7	-	2	2	45	0	0	2	-	-	-	1	0	48					
西吉野村	0	0	-	-	-	-	-	-	-	41	21	-	11	11	4	66	-	-	-	-	-	14	2	93					
天川村	-	-	0	-	-	-	-	-	2	127	12	0	13	154	-	-	-	-	11	-	-	-	-	175					
野迫川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	116	-	34	-	2	152	-	-	-	-	-	-	-	-	155					
大塔村	1	-	-	-	-	-	-	-	-	76	-	29	-	2	107	-	-	-	0	-	-	-	-	111					
十津川村	2	-	-	-	-	-	-	-	-	322	307	-	-	0	629	-	-	-	33	-	-	-	-	670					
下北山村	2	-	-	-	-	-	-	-	-	31	88	-	-	-	119	-	-	-	18	-	-	-	-	139					
上北山村	2	-	-	-	-	-	-	-	-	143	28	83	3	0	5	262	-	-	1	-	-	-	-	270					
川上村	0	-	0	-	-	-	-	-	-	32	164	1	35	232	-	-	-	-	-	-	-	11	1	270					
東吉野村	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	11	0	0	0	0	0	0	22	10	0	32	2	82	5	89	132
計	20	26	-	0	7	690	423	386	218	1	65	1816	0	0	67	67	63	24	35	0	122	3	212	18	233	2258			
郡部計	170	54	16	0	7	690	423	386	218	1	65	1860	6	153	67	286	63	240	105	50	458	45	3	212	18	278	2992		
合計	447	138	25	0	12	690	423	386	244	1	65	1964	6	153	67	226	63	421	174	76	734	74	4	220	23	321	3692		

未固結 堆積物	a	礫・砂・泥
半 固 結 （ 固 結 堆 積 物	b	礫層・砂層・泥層 （洪積～鮮新統）
	c	礫層・砂層・泥層 （鮮新～中新統）
	d	礫岩・砂岩
	e	礫岩（泥岩をはさむ）
	f	砂岩を主とする層
	g	泥岩を主とする層
	h	砂岩・泥岩互層
	i	砂岩・泥岩・粘板岩
	j	石灰岩
	k	チャート
火 山 岩 類	l	流紋岩質・安山岩質火山岩類
	m	溶結凝灰岩
	n	緑色岩類
深 成 岩 類	o	石英斑岩・花崗閃緑岩
	p	花崗岩・花崗閃緑岩
	q	花崗岩・花崗閃緑岩
	r	閃緑岩・塩基性岩
変 成 岩 類	s	片麻岩
	t	圧砕岩
	u	黒色片岩
	v	緑色片岩



2-5 土壤統計分布面積市町村別内訳

(Kon<sup>2</sup>)

市町村	土石地		黒ボク土		褐色森林土				ボトゾル		黄色土	
	土石地	計	黒ボク土	計	乾性褐色森林土	湿性褐色森林土	乾性褐色森林土	湿性褐色森林土	乾性ボトゾル	ボトゾル	黄色土	計
奈良市	-	-	-	-	80	1	-	-	28	109	1	1
大和高田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大和郡山市	-	-	-	-	-	-	-	4	4	4	-	-
天理市	-	-	-	-	22	4	-	-	9	35	5	5
橿原市	-	-	-	-	4	-	-	-	4	4	-	-
桜井市	-	-	-	-	38	21	-	1	14	60	1	1
五条市	-	-	-	-	26	9	-	-	14	49	3	3
御所市	-	-	1	1	17	13	-	1	1	31	1	1
生駒市	-	-	-	-	-	-	-	29	29	29	0	0
市部計	-	-	1	1	187	48	-	86	321	321	11	11
添上郡	-	-	-	-	11	-	-	5	16	16	1	1
山都郡	-	-	-	-	29	2	-	1	32	32	-	-
山添村	-	-	-	-	45	2	-	-	47	47	-	-
辺郡	-	-	-	-	74	4	-	1	79	79	-	-
平郡	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	1	1
三郷町	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6	1	1
斑鳩町	-	-	-	-	-	-	-	4	4	4	-	-
安堵村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
郡計	-	-	-	-	-	-	-	22	22	22	2	2
磯城郡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川西村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三宅村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
田原本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
郡計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宅	-	-	-	-	26	5	-	-	31	31	1	1
陀	-	-	0	0	13	6	-	-	19	19	-	-
原	-	-	-	-	29	16	-	-	45	45	-	-
室	-	-	7	7	64	20	-	-	84	84	-	-
生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

曾爾村	-	-	-	9	9	12	19	-	-	-	31	-	-	-
御杖村	-	-	-	5	5	19	50	-	-	-	69	-	-	-
計	-	-	-	21	21	163	116	-	-	-	279	-	-	1
高取町	-	-	-	-	-	12	4	-	-	-	16	-	-	1
明日香村	-	-	-	-	-	8	6	-	-	-	14	-	-	-
計	-	-	-	-	-	20	10	-	-	-	30	-	-	1
新庄町	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	6	-	-	1
当麻町	-	-	-	-	-	5	3	-	-	-	8	-	-	-
香芝町	-	-	-	-	-	0	-	-	9	9	-	-	-	-
上牧村	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
王寺町	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-
広陵町	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
河合町	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	8	6	-	16	30	-	-	-	1
吉野町	-	-	-	-	-	46	29	-	2	77	-	-	-	5
大淀町	-	-	-	-	-	18	2	-	5	25	-	-	-	2
下市町	-	-	-	-	-	26	21	-	1	48	-	-	-	1
黒滝村	-	-	-	-	-	11	32	1	-	44	-	-	-	-
西吉野村	-	-	-	-	-	31	40	1	-	72	-	-	11	11
天川村	5	5	-	-	51	51	109	-	-	160	-	1	-	-
野迫川村	-	-	-	2	2	41	103	-	-	144	-	-	-	-
大塔村	0	0	1	1	26	73	-	-	-	99	-	-	-	-
十律川村	0	0	2	2	184	456	-	-	-	640	-	1	1	-
下北山村	1	1	-	-	36	86	-	-	-	122	-	1	1	-
上北山村	5	5	-	-	74	175	-	-	-	249	-	2	2	-
川上村	3	3	-	-	49	203	-	7	-	259	-	-	-	-
東吉野村	-	-	2	2	30	92	-	3	-	125	-	-	-	-
計	14	14	7	7	623	1,421	1,2	12	8	2,064	5	5	19	19
郡部計	14	14	28	28	899	1,557	12	12	52	2,520	5	5	25	25
合	14	14	29	29	1,086	1,605	12	12	138	2,841	5	5	36	36

(Kont)

土質 市町村	褐色低地土				灰色低地土				グライ土				未 区分地	合 計
	褐色低地土		褐色低地土		灰色低地土		灰色低地土		グライ土		グライ土			
	粗粒褐色低地土	細粒褐色低地土	粗粒褐色低地土	細粒褐色低地土	粗粒灰色低地土	細粒灰色低地土	粗粒灰色低地土	細粒灰色低地土	粗粒グライ土	細粒グライ土	粗粒グライ土	細粒グライ土		
奈良市	-	-	9	11	4	24	9	9	9	18	60	212		
大和高田市	-	-	2	4	1	7	1	1	1	1	8	16		
大和郡山市	-	-	2	10	-	12	6	6	3	9	18	43		
天理市	-	-	2	19	-	21	2	2	1	3	22	86		
橿原市	0	-	6	12	2	20	0	0	1	1	15	40		
桜井市	-	-	5	11	3	19	1	1	0	1	19	100		
五条市	4	-	2	6	4	12	0	0	-	1	20	89		
御所市	0	-	1	11	3	15	0	0	1	1	12	61		
生駒市	-	-	-	7	5	12	-	-	-	0	12	53		
市部計	4	-	29	91	22	142	19	19	15	35	186	700		
生駒郡 月ヶ瀬村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	21		
山都郡 都祁村	-	-	0	3	1	4	1	1	3	4	4	44		
山辺郡 山添村	-	-	-	2	-	2	-	-	3	9	9	67		
郡計	-	-	0	5	1	6	7	7	6	13	13	111		
生駒郡 平郡町	-	-	-	2	2	4	-	-	-	-	7	24		
三郷町	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	9		
斑鳩町	-	-	-	2	1	3	1	1	2	2	6	15		
安堵村	-	-	-	1	-	1	-	-	2	2	2	5		
郡計	-	-	-	6	3	9	-	-	4	4	16	53		
磯城郡 川西村	-	-	1	1	-	2	1	1	0	1	1	5		
三宅村	-	-	-	1	-	1	1	1	-	1	2	5		
田原本町	-	-	3	6	0	9	1	1	4	5	7	21		
郡計	-	-	4	8	0	12	3	3	4	9	10	31		
宅 陀 郡	-	-	1	0	8	9	-	-	1	1	5	47		
菟田野町	-	-	2	1	2	5	-	-	-	-	4	28		
榛原町	-	-	-	-	10	10	1	1	-	1	7	63		
室生村	-	-	3	5	-	8	-	-	-	-	8	107		

曾爾村	-	-	-	1	1	4	-	0	-	0	4	48
御杖村	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	2	80
計	-	-	-	8	22	40	1	1	-	2	30	373
高取町	0	-	0	2	2	4	1	0	-	1	4	26
明日香村	-	-	-	4	-	6	-	0	-	0	4	24
計	0	-	0	6	2	10	1	0	-	1	8	50
新庄町	-	-	-	0	2	7	-	-	-	-	3	17
当麻町	-	-	-	1	4	5	-	-	0	0	3	16
香芝町	-	-	-	4	3	7	1	-	-	1	7	24
上牧村	-	-	-	1	-	1	1	0	-	1	2	6
王寺町	-	-	-	1	-	1	0	-	-	0	3	7
広陵町	-	-	-	7	1	8	2	-	-	2	6	17
河合町	-	-	-	2	-	2	-	1	-	1	4	8
計	-	-	-	16	10	31	4	1	0	5	28	95
吉野町	-	0	0	1	-	1	0	-	1	1	11	95
大淀町	-	-	-	3	1	4	-	-	0	0	7	38
下市町	1	-	1	3	1	4	-	-	-	-	8	62
黒滝村	-	-	-	1	0	1	-	0	0	0	3	48
西吉野村	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	9	93
天川村	-	0	0	1	0	1	-	0	-	0	8	175
野迫川村	-	1	1	-	0	0	-	0	-	0	8	155
大塔村	-	1	1	-	0	0	-	0	-	0	10	111
十津川村	0	1	1	0	0	0	1	1	1	3	23	670
下北山村	-	-	-	0	-	0	-	0	1	1	14	139
上北山村	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	14	270
川上村	-	-	-	1	-	1	-	0	0	0	7	270
東吉野村	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	3	132
計	1	5	6	7	2	13	1	1	3	5	125	2,258
郡部計	1	5	6	25	40	121	20	17	5	42	231	2,992
合	5	5	10	54	62	263	39	32	6	77	417	3,692

3. 土地利用可能性分級  
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

(Korf)

市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
奈良市	-	27	14	105	44	-	-	22	212	
大和高田市	-	5	7	-	-	-	-	4	16	
大和郡山市	-	14	13	9	-	-	-	7	43	
天理市	-	5	24	22	29	-	-	6	86	
橿原市	-	8	21	4	-	-	-	7	40	
桜井市	-	2	15	55	24	-	-	4	100	
五条市	-	6	14	51	8	-	3	7	89	
御所市	-	2	12	36	9	-	-	2	61	
生駒市	-	-	15	31	3	-	-	4	53	
市部計	-	69	135	313	117	-	3	63	700	
奈良郡	-	-	-	18	1	-	-	2	21	
山辺郡	-	-	3	8	33	-	-	-	44	
郡	-	-	2	42	22	-	-	1	67	
平郡町	-	-	3	19	2	-	-	-	24	
三郷町	-	-	1	6	0	-	-	2	9	
斑鳩町	-	3	2	9	-	-	-	1	15	
安堵村	-	4	1	-	-	-	-	-	5	
計										
磯城郡	-	3	2	-	-	-	-	-	5	
三宅村	-	3	2	-	-	-	-	-	5	
田原本町	-	11	10	-	-	-	-	-	21	
計										
宅陀郡	-	-	1	32	14	-	-	-	47	
菟田野町	-	-	-	18	10	-	-	-	28	
榛原町	-	-	3	39	20	-	1	-	63	
室生村	-	-	2	39	59	-	7	-	107	



曾爾村	-	-	2	33	8	-	5	-	48
御杖村	-	-	3	35	42	-	-	-	80
計									
高取町	-	-	2	23	1	-	-	-	26
明日香村	-	3	1	14	6	-	-	-	24
計									
新庄町	-	6	4	4	3	-	-	-	17
当麻町	-	0	6	7	2	-	1	-	16
香芝町	-	2	10	12	-	-	-	-	24
上牧村	-	1	1	4	-	-	-	-	6
王寺町	-	1	1	2	-	-	1	2	7
広陵町	-	3	10	4	-	-	-	-	17
河合町	-	1	5	2	-	-	-	-	8
計									
吉野町	-	-	3	25	50	-	12	5	95
大淀町	-	-	2	31	4	-	-	1	38
下市町	-	1	1	37	17	-	5	1	62
黒滝村	-	-	-	6	30	0	12	-	48
西吉野村	-	-	-	17	53	-	23	-	93
天川村	-	1	3	13	57	24	77	-	175
野迫川村	-	-	-	-	101	3	51	-	155
大塔村	-	-	-	4	35	3	68	1	111
十津川村	-	-	-	9	175	19	459	8	670
下北山村	-	-	-	2	19	4	112	2	139
上北山村	-	-	-	3	49	21	194	3	270
川上村	-	-	-	19	78	9	164	-	270
東吉野村	-	-	-	26	72	-	34	-	132
計									
郡部計	-	43	86	562	963	83	1,226	29	2,992
合	-	112	221	875	1,080	83	1,229	92	3,692

### 3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

#### 3.2.1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(Km<sup>2</sup>)

地形区分		土地利用可能性分級	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山地 ・ 火山 山地	山 地	大起伏	-	1	2	27	294	37	1,016	-	1,377	
		中起伏	-	-	1	129	347	21	159	1	658	
		小起伏	-	1	4	333	348	23	35	1	745	
		山麓地	-	-	3	98	38	2	15	-	156	
		小計	-	2	10	587	1,027	83	1,225	2	2,936	
丘陵 地	非火山性 丘陵	大起伏	-	-	1	11	-	-	-	-	12	
		小起伏	-	3	41	203	32	-	1	14	294	
		小計	-	3	42	214	32	-	1	14	306	
台 地 段 丘	砂 礫 台 地	上位面	-	1	0	8	-	-	-	1	10	
		中位面	-	0	4	5	-	-	1	4	14	
		下位面	-	8	27	13	-	-	-	8	56	
		小計	-	9	31	26	-	-	1	13	80	
低 地	低 地	扇状地性	-	48	97	47	21	-	2	32	247	
		三角洲性	-	48	39	0	-	-	-	10	97	
		自然堤防砂洲	-	2	2	1	-	-	-	2	7	
		小計	-	98	138	48	21	-	2	44	351	
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	19	19	
合計		-	112	221	875	1,080	83	1,229	92	3,692		

3.2.2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

(Km<sup>2</sup>)

土地利用可能性分級 傾斜	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
0°～ 3°(S1)	-	97	139	13	1	-	-	72	322	ダム地 <sup>19</sup> を含む
3°～ 8°(S2)	-	15	38	24	0	0	-	12	89	
8°～ 15°(S3)	-	-	44	110	47	1	-	4	206	
15°～ 30°(S4)	-	-	-	728	257	6	-	2	993	
30°～ 40°(S5)	-	-	-	-	775	76	-	-	851	
40°～ (S6)	-	-	-	-	-	-	1,229	2	1,231	
合計		112	221	875	1,080	83	1,229	92	3,692	

3.2.3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

(Km<sup>2</sup>)

土地利用可能性分級 標高	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
低暖地帯(H1)	-	110	202	567	98	-	168	92	1,237	
山間地帯(H2)	-	2	19	308	974	-	995	-	2,298	
高冷地帯(H3)	-	-	-	-	8	83	66	-	157	
生産限界外地帯(H4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	112	221	875	1,080	83	1,229	92	3,692	

3.2.4 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連

(Km<sup>2</sup>)

土地利用可能性分級 土壤生産力可能性	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
はなはだよい(P1)	-	1	4	109	395	15	871	-	1,395	
ややよい(P2)	-	111	23	145	68	-	10	-	357	
やや劣る(P3)	-	-	194	87	10	2	1	-	294	
劣る(P4)	-	-	-	534	607	66	333	-	1,540	
はなはだ劣る(P5) (P6)	-	-	-	-	-	-	14	-	14	
未区分地	-	-	-	-	-	-	-	92	92	
合計	-	112	221	875	1,080	83	1,229	92	3,692	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

地域概要		土地利用可能性分級			
		1 類地	2 類地	3 類地	4 類地
地域名(団地名)		—	奈良盆地	奈良盆地	竜門山地
地形	傾斜 (谷密度)	—	S <sub>1</sub> (0-3°) 0-11	S <sub>1</sub> (0-3°) 2-17	S <sub>3</sub> ・S <sub>4</sub> (8-30°) 17-57
	標高 (植栽限界)	—	48m~120m	35m~120m	80m~525m
表層地質 岩石の種類 岩石のかたさ 時代		—	礫砂泥 軟 沖積世	礫砂泥 軟 沖積世	花崗岩・閃緑岩・ 塩基性岩 硬-中 中生代
土壌	農田 土壌統群 生産力 可能性 等級	—	グライ土壌 細粒灰色低地土壌 Ⅱ	灰色低地土壌 粗粒灰色低地土壌 Ⅱ-Ⅲ	灰色低地土壌 Ⅱ
		—	グラ —	—	細粒灰色低地土壌 Ⅱ
	草地 土壌統群 生産力 可能性 等級	—	—	—	—
	林地 土壌統群 地位級	—	—	—	乾性褐色森林土壌 Ⅳ
水利	地表水 地下水	—	○ ○ ×	○ ○ ×	○ ○ ×
気候区分		—	近畿	"	"
面積	土地利用可能性類 地別面積県内合計 (A)	—	112 Km <sup>2</sup>	221 Km <sup>2</sup>	875 Km <sup>2</sup>
	当該地域の類地別 面積県内合計 (B)	—	78	92	97
	% (B/A)	—	70	42	11

5 類地	6 類地	7 類地	8 類地 (未区分地)	備考
大和高原	大峯山地	台高山地	奈良盆地辺縁台地 ・丘陵	
S <sub>3</sub> ・S <sub>4</sub> ・S <sub>5</sub> (8°-40°) 7-39	S <sub>4</sub> ・S <sub>5</sub> (20°-40°) 18-32	S <sub>6</sub> (40°以上) 10-29	S <sub>1</sub> ・S <sub>2</sub> ・S <sub>3</sub> (0-15°) 0-14	
75m~730m	1,080m~1,805m	280m~1,310m	60m~145m	
花崗岩・花崗閃緑 岩・溶結凝灰岩 硬 中生代	砂岩・泥岩・互層 硬 中生代	砂岩・泥岩・互層 チャート 硬 中生代	礫層・砂層・泥層 軟 新第3期	
細粒グライ土壌 黄色土壌 II-III	-	-	-	
細粒グライ土壌 灰色低地土壌 II	-	-	-	
-	-	-	-	
乾性褐色森林土壌 IV	乾性褐色森林土壌 褐色森林土壌 I-II-III-IV	乾性褐色森林土壌 褐色森林土壌 I-II-III-IV	-	
○ × ×	○ × △	○ × △	○ ○ ×	
"	"	"	"	
1,080 Km <sup>2</sup>  161 15	83 Km <sup>2</sup>  54 65	1,229 Km <sup>2</sup>  267 22	92 Km <sup>2</sup>  21 23	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
類地区分および包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	
奈良市	1							
	2	1.1 2 1.2 2	27	A	水 稻 99			
	3	1.1 3 1.3 3 1.2 3 1.3 2	14	A	水 稻 99			
	4	1.1 4 1.4 4 2.4 2 1.4 2 2.3 2 2.4 3 1.4 3 2.3 3	105					
	5	1.5 4 2.3 4 2.4 4	44					
	6							
	7							
	8		22					
市町村計 (地域計)		212						
大和高田市	1							
	2	1.1 2	5	B	水 稻 107			
	3	1.1 3	7	B	水 稻 107			
	4							
	5							
	6							
	7							
	8		4					
市町村計 (地域計)		16						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占有率	草地の種類 および平均 収 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占有率	
		土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 量 率	土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 量 率		
				B	広 80		
		D	ヒノキ 80	B	広 80		
						A	市街地
						A	市街地

市 町 村 名	類地区分 面積		土 地 利					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
類地区分および包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	
大 和 郡 山 市	1							
	2	1.1 2 1.2 2	14	B	水 稻 105			
	3	1.1 3 1.2 3 1.3 2	13	A	水 稻 105			
	4	1.1 4 1.4 4 1.2 4 1.3 4	9	D	水 稻 100			
	5							
	6							
	7							
	8		7					
市 町 村 計 ( 地域計 )		43						
天 理 市	1							
	2	1.1 2	5	A	水 稻 105			
	3	1.1 3 1.3 3 1.2 3 1.3 2	24	C	水 稻 105			
	4	1.2 4 1.4 4 1.3 4 2.3 3 1.4 3 2.4 3	22					
	5	2.3 4 2.4 4	29					
	6							
	7							
	8		6					
市 町 村 計 ( 地域計 )		86						



用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林			
		土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占有率	
		D	ヒノキ 70	C	マツ 70		
						A	市街地
		C	ヒノキ 95	C	広 100		
		C	スギ 95	C	広 100		
						A	市街地

市 町 村 名	類地区分  類地区分および包含される 示性式		土 地 利 用					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率		
檀 原 市	1							
	2	1.12 1.21 1.22	8	A	水 稻 108			
	3	1.13 1.32	21	B	水 稻 108			
	4	1.14 1.43 1.34 1.44 1.42	4	C	水 稻 103			
	5							
	6							
	7							
	8		7					
市 町 村 計 ( 地域計 )		40						
椛 井 市	1							
	2	1.12 1.22	2	A	水 稻 97			
	3	1.13 1.33 1.23 1.32	15	A	水 稻 97			
	4	1.34 1.43 2.42 1.41 1.44 1.42 2.41	55	D	水 稻 90			
	5	1.52 2.44 1.54 2.51 2.54	24	D	水 稻 90			
	6							
	7							
	8		4					
市 町 村 計 ( 地域計 )		100						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
		土地利用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率		
		C	ヒノキ 70	B	広 80		
						A	市街地
		D	ヒノキ 100	B	広 100		
				B	広 100		
						A	市街地

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利					
			水 田		畑			
	類地区分および包含される示性式	面 積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率
五 条 市	1							
	2	1.1 2 1.2 1 1.2 2	6	B	水 稻 104			
	3	1.1 3 1.3 3 1.2 3 1.3 2	14	B	水 稻 104			
	4	1.3 4 1.4 3 1.3 4 1.4 4 1.4 2 2.4 2	51	D	水 稻 104		D	かき 118
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4	8			C	大 根 80	
	6							
	7	1.6 2 1.6 4	3					
	8		7					
市 町 村 計 ( 地域計 )		89						
御 所 市	1							
	2	1.1 2 1.2 2	2	A	水 稻 100			
	3	1.1 3 1.2 3	12	A	水 稻 100			
	4	1.1 4 1.4 3 2.4 3 1.3 4 1.4 4 1.4 2 2.4 2	36	D	水 稻 95			
	5	2.5 2 2.5 4	9					
	6							
	7							
	8		2					
市 町 村 計 ( 地域計 )		61						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
		土地利用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収穫量率	土地利用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収穫量率		
		D	ヒノキ 75	B	マツ 80		
		B	ヒノキ 75	D	マツ 80		
		C	ヒノキ 75	C	マツ 80		
						A	市街地
		B	スギ 100	D	広 100		
		A	ヒノキ 95	D	広 100		
						A	市街地

市 町 村 名	類 地 区 分 面積		土 地 利 用					
			水 田		畑			
			土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率
生 駒 市	1							
	2							
	3	1.13 1.23 1.33	15	B	水 稻 90			
	4	1.14 1.44 1.24 1.34	31	D	水 稻 90			
	5	2.44	3					
	6							
	7							
	8		4					
市 町 村 計 ( 地域計 )		53						
月 ヶ 瀬 村	1							
	2							
	3							
	4	1.42 1.44	18	D	水 稻 95		D	茶 125
	5	1.54	1					
	6							
	7							
	8		2					
市 町 村 計 ( 地域計 )		21						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
		土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率		
		D	ヒノキ 70	B	マツ 90		
				A	マツ 90		
						A	市街地
		D	ヒノキ 70	B	広 90		
				A	広 90		
						A	ダム

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用					
			水 田		畑			
	類地区分および包含される示性式	面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率
都 祁 村	1							
	2							
	3	2.1 2 2.3 2	3	B	水 稻 9 8			
	4	1.4 2 2.1 3 1.4 3 2.3 3 2.4 2	8	C	水 稻 9 8		C	茶 9 6
	5	2.1 4 2.3 4 3.4 4	3 3					
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		4 4						
山 添 村	1							
	2							
	3	1.3 2 1.3 3	2	B	水 稻 9 4			
	4	1.2 4 1.4 2 1.3 4 1.4 3 1.4 4	4 2	D	水 稻 9 4		D	茶 1 1 5
	5	1.5 4 2.3 4 2.4 4	2 2	D	水 稻 8 9		D	1 1 5
	6							
	7							
	8		1					
市 町 村 計 ( 地域計 )		6 7						





市 町 村 名	類 地 区 分 類地区分および包含される 示 性 式		土 地 利 用					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率		
平 群 町	1							
	2							
	3	1.13 1.23 1.33	3	B	水 稻 90			
	4	1.24 1.44 1.34 1.43	19	D	水 稻 90			
	5	2.44	2					
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		24						
三 郷 町	1							
	2							
	3	1.23 1.33	1	A	水 稻 87			
	4	1.14 1.44 1.24 1.34	6	D	水 稻 82			
	5	2.44	0					
	6							
	7							
	8		2					
市 町 村 計 ( 地域計 )		9						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
		土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率		
		D	ヒノキ 80	C	マツ 90		
				B	マツ 90		
				A	広 80		
						A	市 街 地

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用					
			水 田		畑			
	土地利用 占有率	平均収 穫量率			普 通 畑		樹 園 地	
			土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率		
類地区分および包含される示性式	面積							
斑 鳩 町	1							
	2	1.12	3	B	水 稻 107			
	3	1.13	2	B	水 稻 107			
	4	1.14 1.24 1.34	9	D	水 稻 102			
	5							
	6							
	7							
	8		1					
市 町 村 計 ( 地域計 )		15						
安 堵 村	1							
	2	1.12	4	A	水 稻 106			
	3	1.13	1	A	水 稻 106			
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		5						



市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用					
			水 田		畑			
	土地利用 占有率	平均収 穫量率			普 通 畑		樹 園 地	
			土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率		
川 西 村	1							
	2	1.1 2	3	B	水 稻 107			
	3	1.1 3	2	A	水 稻 107			
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		5						
三 宅 村	1							
	2	1.1 2	3	B	水 稻 108			
	3	1.1 3	2	B	水 稻 108			
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		5						



市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利					
			水 田		畑			
	土地利用 占有率	平均収 穫量率			普 通 畑		樹 園 地	
			土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率		
田 原 本 町	1							
	2	1.1 2	1 1	B	水 稻 1 0 8			
	3	1.1 3	1 0	B	水 稻 1 0 8			
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		2 1						
大 字 陀 町	1							
	2							
	3	1.2 3	1	A	水 稻 9 7			
	4	1.4 3 2.4 3 1.4 4 2.4 2	3 2	D	水 稻 9 7			
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4	1 4	D	水 稻 9 2			
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		4 7						





市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用				
			水 田		畑		
	土地利用 占有率	平均収 穫量率			普 通 畑		樹 園 地
			土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	
類地区分および包含される示性式	面 積						
菟 田 野 町	1						
	2						
	3						
	4	1.42 2.42 1.43 2.43	18	D	水 稻 97		
	5	2.44	10	D	水 稻 92		
	6						
	7						
	8						
市 町 村 計 ( 地域計 )		28					
榛 原 町	1						
	2						
	3	1.23 1.33	3	B	水 稻 97		
	4	1.24 1.44 1.42 2.41 1.43 2.42	39	D	水 稻 97		
	5	1.52 2.44 1.54 2.52 2.54	20	D	水 稻 92		
	6						
	7	2.62	1				
	8						
市 町 村 計 ( 地域計 )		63					



市 町 村 名	類 地 区 分  類地区分および包含される示性式  面 積		土 地 利 用					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
		土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	
室 生 村	1							
	2							
	3	1.33 2.32	2	D	水 稻 90			
	4	1.42 2.41 1.43 2.42 1.44 2.43	39	D	水 稻 85			
	5	1.52 2.44 1.54 2.52 1.34 2.54	59	D	水 稻 85			
	6							
	7	1.62 2.62 2.61 2.64	7					
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		107						
曾 木 村	1							
	2							
	3	1.23 2.22 2.32	2	D	水 稻 81			
	4	1.42 2.42 2.41 2.43	33	D	水 稻 81			
	5	2.44 2.53 2.52 2.54	8					
	6							
	7	2.62 2.63 2.64	5					
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		48						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占有率	
		土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率		
		B	ヒノキ 85	C	広 90		
		B	ヒノキ 100	C	広 95		
		B	スギ 100	C	広 100		
		A	ヒノキ 100	D	広 100		
		A	スギ 100	D	広 100		
		A	スギ 100	D	広 100		

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用					
			水 田		畑			
	土地利用 占有率	平均収 穫量率			普 通 畑		樹 園 地	
			土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率		
類地区分および包含される示性式	面積							
御 杖 村	1							
	2							
	3	234	3	D	水 稻 79			
	4	2.41 2.42 2.43	35	D	水 稻 79			
	5	2.34 2.52 2.44 2.53 2.51 2.54	42					
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		80						
高 取 町	1							
	2							
	3	1.13 1.23 1.33	2	C	水 稻 100			
	4	1.14 1.43 1.42 1.44	23	D	水 稻 100			
	5	2.44 2.54	1					
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		26						



市 町 村 名	類 地 区 分  類地区分および包含される示性式		土 地 利 用					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率		
明 日 香 村	1							
	2	1.1 2 1.2 2	3	C	水 稻 1 0 1			
	3	1.2 3 1.3 2 1.3 3	1	C	水 稻 9 6			
	4	1.2 4 1.4 3 1.3 4 2.4 4 1.4 2	14	C	水 稻 9 6			
	5	1.5 4 2.2 4 2.5 1	6					
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		24						
新 庄 町	1							
	2	1.1 2 1.2 2	6	A	水 稻 1 0 4			
	3	1.1 3	4	A	水 稻 1 0 4			
	4	1.2 4 1.3 4 1.4 2 2.4 2	4	D	水 稻 9 9			
	5	2.4 4 2.5 2 2.5 4	3					
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		17						





市 町 村 名	類 地 区 分 類地区分および包含される示性式		土 地 利					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率			
当 麻 町	1							
	2	1.22	0					
	3	1.13 1.23	6	B	水 稻 104			
	4	1.24 1.44 1.34 2.42 1.42	7	C	水 稻 104			
	5	1.54 2.54	2					
	6							
	7	1.62	1					
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		16						
香 芝 町	1							
	2	1.12	2	A	水 稻 101			
	3	1.13 1.33	10	C	水 稻 101			
	4	1.14 1.24 1.34 1.44	12	C	水 稻 96			
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		24						



市 町 村 名	類 地 区 分 類地区分および包含される 示 性 式		土 地 利					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率		
上 牧 村	1							
	2	1.1 2	1	C	水 稻 98			
	3	1.2 3 1.3 2	1	C	水 稻 98			
	4	1.1 4 1.2 4 1.3 4	4	C	水 稻 98			
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		6						
王 寺 町	1							
	2	1.1 2	1	D	水 稻 104			
	3	1.1 3 1.2 3 1.3 3	1	C	水 稻 99			
	4	1.3 4 1.4 4	2	D	水 稻 99			
	5							
	6							
	7	1.6 1	1					
	8		2					
市 町 村 計 ( 地域計 )		7						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
		土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率		
				C	広 60		
				C	広 60		
				C	広 60		
				C	広 60		
				A	広 60		
				A	広 60		
						A	市 街 地

市 町 村 名	類 地 区 分  類地区分および包含される 示 性 式		土 地 利 用					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
	面 積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	
広 陵 町	1							
	2	1.1 2	3	B	水 稻 104			
	3	1.1 3 1.3 3	10	B	水 稻 104			
	4	1.1 4 1.2 4 1.3 4	4	C	水 稻 99			
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		17						
河 合 町	1							
	2	1.1 2	1	C	水 稻 100			
	3	1.1 3 1.3 3	5	C	水 稻 100			
	4	1.1 4 1.2 4 1.3 4	2	C	水 稻 95			
	5							
	6							
	7							
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		8						



市 町 村 名	類 地 区 分  類地区分および包含される示性式  面 積		土 地 利					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率			
吉 野 町	1							
	2							
	3	1.23 1.33	3	C	水 稻 87			
	4	1.41 1.44 1.42 2.41 1.43 2.42	25	D	水 稻 87			
	5	1.51 2.44 1.52 2.52 1.54 2.54	50	D	水 稻 82			
	6							
	7	1.61 1.64 2.61 2.64	12	D	水 稻 82			
	8		5					
市 町 村 計 ( 地域計 )		95						
大 淀 町	1							
	2							
	3	1.23 1.33	2	C	水 稻 94			
	4	1.34 1.43 1.44	31	D	水 稻 89			
	5	1.54 2.44 2.52 2.54	4					
	6							
	7							
	8		1					
市 町 村 計 ( 地域計 )		38						



用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占有率	草地の種類 および平均 収穫量率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占有率	
		土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収穫量率		
		B	スギ 110	D	マツ 110		
		C	スギ 110	C	マツ 110		
		B	スギ 110	C	マツ 110		
		B	スギ 110	D	マツ 110		
						A	河川・ダム
		C	ヒノキ 90	D	マツ 90		
		C	ヒノキ 90				
						A	河川

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利				
			水 田		畑		
	土地利用 占有率	平均収 穫量率			普 通 畑		樹 園 地
			土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	
類地区分およ び包含される 示 性 式	面 積						
下 市 町	1						
	2	1.22	1	D	水 稻 86		
	3	1.32	1	D	水 稻 86		
	4	1.34 1.43 1.41 1.44 1.42 2.41	37	D	水 稻 81		
	5	1.51 2.44 1.53 2.51 1.54 2.54	17	D	水 稻 76		
	6						
	7	1.61 1.64	5				
	8		1				
市 町 村 計 ( 地域計 )		62					
黒 滝 村	1						
	2						
	3						
	4	2.41	6				
	5	1.51 2.44 2.51 2.54	30				
	6	3.54	0				
	7	1.61 2.61 2.64	12				
	8						
市 町 村 計 ( 地域計 )		48					

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
		土地利用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率		
		D	ヒノキ 80				
		B	ヒノキ 90	D	広 90		
		A	ヒノキ 100	D	広 90		
		A	ヒノキ 100	D	広 90		
						A	河川
		A	ヒノキ 90				
		A	ヒノキ 110	D	広 100		
		A	スギ 110				

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利					
			水 田		畑			
	類地区分および包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率
西 吉 野 村	1							
	2							
	3							
	4	1.41 2.41 1.43 2.43 1.44	17	D	水 稻 71			
	5	1.51 2.44 1.53 2.51 1.54 2.54	53	D	水 稻 71			
	6							
	7	1.61 1.63 1.64 2.61	23	D	水 稻 71			
	8							
市 町 村 計 ( 地域計)		93						
天 川 村	1							
	2	2.21	1					
	3	2.31	3					
	4	2.41	13					
	5	2.44 2.51 2.54 3.41	57					
	6	3.44 3.53 3.51 3.54	24					
	7	2.61 3.61 2.64 3.40 2.65 3.50	77					
	8							
市 町 村 計 ( 地域計)		175						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
		土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率		
		D	ヒノキ 110	C	広 100		
		B	ヒノキ 110	D	広 100		
		A	ヒノキ 90	D	広 90		
		A	スギ 130				
		A	スギ 120				
		C	ヒノキ 110	C	広 100		
		C	ヒノキ 110	B	広 100		
		D	スギ 110	A	広 100		
		C	ヒノキ 110	B	広 110		

市 町 村 名	類 地 区 分  類地区分および包含される 示 性 式		土 地 利					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率		
野 迫 川 村	1							
	2							
	3							
	4							
	5	2.51 2.54	101					
	6	3.53 3.54	3					
	7	2.61 2.64	51					
	8							
市 町 村 計 ( 地域計 )		155						
大 塔 村	1							
	2							
	3							
	4	2.41	4					
	5	2.51 2.54	35					
	6	3.51 3.54	3					
	7	2.61 2.64 3.61 3.64	68					
	8		1					
市 町 村 計 ( 地域計 )		111						

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土 地 利 用 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率		
		B	スギ 120	C	広 110		
		C	スギ 100	B	広 100		
		D	スギ 110	B	広 110		
		A	スギ 100	D	広 100		
		C	スギ 100	B	広 100		
		A	スギ 110	D	広 100		
		D	スギ 120	A	広 110		
						A	ダム

市 町 村 名	類 地 区 分  類地区分および包含される示性式  面 積		土 地 利 用					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
土地利用率	平均収	土地利用率	主要作物	土地利用率	主要作物	土地利用率	主要作物	
占有率	穫量率	占有率	および平均	占有率	および平均	占有率	および平均	
			収穫量率		収穫量率		収穫量率	
十 津 川 村	1							
	2							
	3							
	4	1.4 1 1.4 4 2.4 1	9					
	5	1.5 1 1.4 4 2.5 1 2.5 4	175					
	6	3.5 1 3.5 4	19					
	7	1.6 1 3.6 1 1.6 0 3.6 4 2.6 1	459					
	8		8					
市 町 村 計 ( 地域計 )		670						
下 北 山 村	1							
	2							
	3							
	4	1.4 1 2.4 1	2					
	5	2.4 4 2.5 1 2.5 4	19					
	6	3.5 4	4					
	7	2.6 1 2.6 4 3.6 1 3.6 4	112					
	8		2					
市 町 村 計 ( 地域計 )		139						



用 の 現 況						
草 地	草地の種類 および平均 収穫量率	林 地				空地その他 土地 利用 占有率
		人 工 林		天 然 林		
		土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	
		A	スギ 120	D	広 110	
		D	スギ 110	A	広 100	
				A	広 120	
		C	スギ 110	B	広 110	
						A
		A	スギ 140			
		C	スギ 120	B	広 120	
		D	スギ 140	A	広 120	
		B	スギ 130	D	広 120	

の 現 況						備 考	
草 地	草地の種類 および平均 収穫量率	林 地					空地その他 土地 利用 占有率
		人 工 林		天 然 林			
		土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率		
		D	スギ 100	A	広 100		
		C	スギ 120	B	広 110		
				A	広 100		
		B	スギ 110	C	広 100		
						A ダム	
		A	スギ 110				
		D	スギ 100	A	広 100		
				A	広 100		
		C	スギ 100	C	広 100		
						A ダム	

市 町 村 名	類 地 区 分 類地区分および包含される示性式 面 積		土 地 利 用						
			水 田 土地利用 占有率 平均収 穫量率		畑				
					普 通 畑 土地利用 占有率 主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率		樹 園 地 土地利用 占有率 主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率		
東 吉 野 村	1								
	2								
	3								
	4	1.41 2.41 2.43	26						
	5	1.51 2.51 1.52 2.53 2.44 2.54	72						
	6								
	7	1.61 1.64 2.61 2.64	34						
	8								
市 町 村 計 ( 地域計 )		132							
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
市 町 村 計 ( 地域計 )									

用 の 現			
草 地		林	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林	
		土地利用 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率
		D	スギ 100
		C	スギ 120
		B	スギ 110
		A	スギ 110
		D	スギ 100
		C	スギ 100





1973年3月 印刷発行

縮尺20万分の1

土地分類図付属資料

奈良県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 東京製本印刷株式会社

東京都港区西新橋二丁目四番一号

